

## 各国立大学の取組構想における戦略の概要

大学名	戦略名	戦略の概要
北海道大学	持続可能社会の実現に向けた世界トップレベル研究推進・社会実装	北海道大学近未来戦略150の目標である「次世代に持続可能な社会を残すため、様々な課題を解決する世界トップレベルの研究を推進する」ことを踏まえて、学問の進展やイノベーション創出へ向けた取組を推進。
	最先端の国際連携研究拠点の構築と、次代を担う人材の育成	北海道大学近未来戦略150の目標である「次世代に持続可能な社会を残すため、様々な課題を解決する世界トップレベルの研究を推進する」及び「専門的知識に裏付けられた総合的判断力と高い識見、並びに異文化理解能力と国際的コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成する」ことを踏まえて、国際的頭脳循環ハブとして国内外の優秀な研究者を集めつつ、新領域・新産業等を創造できる人材を育成。
	国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材の育成	北海道大学近未来戦略150の目標である「専門的知識に裏付けられた総合的判断力と高い識見、並びに異文化理解能力と国際的コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成する」ことを踏まえて、国際通用性を意識した教育プログラムの実施等を通じて、国際的に活躍できる人材を育成。
	4つの基本理念に基づく多様な人材育成のための全学的教育システム改革	北海道大学近未来戦略150の目標である「専門的知識に裏付けられた総合的判断力と高い識見、並びに異文化理解能力と国際的コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成する」ことを踏まえて、全学的な教育システム、教育基盤の構築等を行う。
	国内外の地域や社会の活性化及び新たな価値の創造に貢献	北海道大学近未来戦略150の目標である「学外との連携・協働により、知の発信と社会変革の提言を不断に行い、国内外の地域や社会における課題解決、活性化及び新たな価値の創造に貢献する」ことを踏まえて、国際社会との橋渡しを踏まえた社会貢献を行い、地域における知の拠点として、地域社会経済の活性化や地域医療に貢献。
北海道教育大学	北海道の教育課題に取り組む教員養成	北海道の教育課題に対応し、高い実践的な指導力を持ち、学校現場に生起する課題の解決に立ち向かう姿勢と基本的な研究力を備えた教員を養成するために、大学院教育までを含めた実践型カリキュラムへの転換に向けた取組、入試改革、さらには教育を担う大学教員の資質向上も視野に入れた教員養成改革を行う。
	北海道の地域課題解決のために地域の活性化・再生に寄与する人材養成	グローバルな視点から地域イノベーションを引き起こすことができるスキルや能力を備えた人材養成を行うとともに、芸術・スポーツを活用し地域活性化をマーケティングの視点により解決する文化ビジネスを構築できる人材養成を行う。
	社会のグローバル化に対応した教員養成	海外協定校と共同教育プログラムの開発を行い、グローバル教員養成プログラムを着実に進め、小学校英語の授業を確実に実施できる教員及び、十分な英語力を持った英語教員の養成を行う。
室蘭工業大学	全学的かつ組織的な体制の下で、社会ニーズを捉えて高度専門科学技術者及び地域創生を担える理工系人材を育成する	「理工系人材育成戦略」に基づき、学士・博士前期課程一貫プログラムを導入するなど、複眼的な視野を有した高度技術者を育成して、総合理工学教育の発展を図る。
	本学が有する独自の研究シーズを活かしたプロジェクトの実施や産官学金の連携体制強化を通して、北海道における地域課題の解決に向けた活動を推進することにより、地域の活性化、新産業の創出や雇用拡大、行政の支援等に取り組む	これまで行ってきた教育・研究プロジェクトを発展させ、産官学の連携体制を強化し、大学独自の活動から地域貢献を図る。
	エネルギー、材料、資源活用などの強み・特色のある環境分野をさらに伸長するグリーン・イノベーション分野の形成に取り組む	強み・特色のあるエネルギー、材料、資源活用の環境分野における研究体制を強化することにより、グリーン・イノベーション分野の形成に取り組む。
小樽商科大学	海外及び国内の教育研究資源を活用した新たな教育課程を構築し、グローバル人材を育成する	学長をセンター長とするグローバル戦略推進センターを設置し、学科等の垣根を越え全教員が本センターに所属し、改革を実行する体制の下、新たな教育課程の構築を行うことで地域経済の発展に貢献できるグローバル人材を育成する。
	ビジネス開発プラットフォームを形成し、産学官連携及び大学連携を推進する	グローバル戦略推進センターによる推進・支援体制の下、ビジネス開発プラットフォームを形成し、産学官連携及び文理融合型大学間連携事業等を促進するとともに、その成果を地域の課題解決を担う人材育成に還元する。
	全学的な教学マネジメントによる教育の質保証と拠点の形成により、新たな教育手法を普及・展開する	グローバル戦略推進センターを中心とする推進・支援体制の下、全学的な教学マネジメントによる教育の質保証と拠点の形成により、アクティブラーニングや実践型Blendedラーニングを進化させ、新たな教育手法を普及・展開するとともに、多面的な成績評価を可能とする評価システムを確立する。
帯広畜産大学	教育研究機能を強化するため、国際水準の教育体制の整備、企業等との連携による人材育成、世界トップクラス大学との国際共同研究等を推進する。	教育研究機能を強化するため、国際水準の教育体制の整備、企業等との連携による人材育成、世界トップクラス大学との国際共同研究等を推進する。
	社会貢献機能を強化するため、農業関連企業・団体、地域住民等に対する社会人教育、地方公共団体等と連携した地域創成事業を充実する。	社会貢献機能を強化するため、農業関連企業・団体、地域住民等に対する社会人教育、地方公共団体等と連携した地域創成事業を充実する。
	国際貢献機能を強化するため、国際機関、国際協力機関等と連携した教育研究事業による海外展開、海外拠点整備を推進する。	国際貢献機能を強化するため、国際機関、国際協力機関等と連携した教育研究事業による海外展開、海外拠点整備を推進する。

大学名	戦略名	戦略の概要
北見工業大学	「教育」の個性化・機能強化による人材育成の高度化	工学部・大学院（博士前期課程）を2学科・2専攻に改組することなどにより、本学ならではの魅力ある環境やエネルギー及び地域に根ざしたカリキュラムを構築し、地域社会で活躍できる人材はもとより、広い視野をもってグローバルに展開できる技術者を輩出する。
	「研究」の個性化・機能強化による地域貢献	オホーツク地域に立地する唯一の工科系単科大学として、地域産業活性化の観点から、一次産業に積極的に関与することを研究の一つの方向性とし、工学的見地から一次産業のシステム化に貢献する。
弘前大学	アグリ・ライフ・グリーン分野における地域の特性・資源を活かしたイノベーション創出・人材育成	「食」「再生可能エネルギー」「環境」の3分野における地域資源を活かした教育研究を推進し、青森県の地域課題である人口減少、消費活動の低迷などの解決に向けたイノベーション創出と人材育成による地域貢献を目指す。
	こころ・からだの健康増進に向けた社会医学的観点からの総合的な健康づくり教育研究拠点の形成	青森県の地域課題である人口減少などの解決のため、「健康未来イノベーションセンター（仮称）創設と短命県返上に向けた社会医学的研究及び社会支援活動」を実施し“住民の健康度向上”を最大テーマとした“こころ”“運動”“地域の健康”などの教育・研究・社会貢献活動を進める。さらに、全体の取組を“健康対策青森県パッケージ”として全国や世界に発信する。
	被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な放射線科学教育研究の推進	「放射線災害支援センター（仮称）」、「放射線看護教育センター（仮称）」、「国際放射線科学コロボセンター（仮称）」を設置し、緊急時の被ばく医療対応体制の強化、新たな専門看護師となる放射線看護専門看護師の養成、世界に貢献しうる人材を育成する国際的な教育・研究拠点を形成する。
岩手大学	グローバル（グローバル×ローカル）な視点で復興に尽力する岩手大学で学ぶ学生としてのアイデンティティを涵養し、地域の産業・行政・教育等の分野で指導的役割を果たすことができる、幅広く深い教養と高い専門性を備え、主体的に学び行動する「いわて協創人材」を学士課程で育成する。	地域における中核的学術拠点としてその機能を強化するため平成28年度に全学部の改組再編を行い、グローバルな視点で復興に尽力する岩手大学で学ぶ学生としてのアイデンティティを涵養し、地域の産業・行政・教育等の分野で指導的役割を果たすことができる「いわて協創人材」を育成。
	専門的な知識と総合的な視野を有し、地域創生を先導することができる人材（地域創生先導人材）を修士課程で育成する。	「震災復興・地域創生」「グローバル人材育成」「イノベーション創出」の3つを柱として、平成28年度に「いわて協創人材」の育成を目指した学士課程の全面的な改組再編を行うとともに、平成29年度に修士課程の一研究科（総合科学研究科）への改組再編と「地域創生先導人材」の育成を目指した地域創生専攻の設置を柱とする教育研究組織の整備を行う。
	地域の中核的学術拠点として、東日本大震災からの復興を着実に前進させ、その上で地域の持続的発展を目指す“地域創生”を実現していくため、「知の創出機能」の充実・強化を推進する。	被災県にある国立大学として復興推進活動の拠点の役割を継続するとともに、地域社会の持続的発展のための課題解決を目指しつつ、グローバルな視点も含めた教育・研究・社会貢献活動を展開し、地域に根ざした成果を、世界に発信する大学を目指す。
東北大学	高度な教養、専門的な知識及びグローバルな視野を備えた指導的人材を養成	「世界リーディング・ユニバーシティ」（世界三十傑大学）の実現に必要な教育に関する戦略であり、これまでの教育力向上の取組を継続・発展させ、築き上げてきた知を教授する教育システムの更なる機能強化を図るとともに、国際通用性のある人材や社会的要請の高い人材など、世界で活躍しうる多様な指導的人材を育成する。
	独自の最先端研究体制の構築等を図り、世界トップレベルの研究成果を創出	「世界リーディング・ユニバーシティ」（世界三十傑大学）の実現に必要な研究に関する戦略であり、これまでの研究力向上の取組を継続・発展させ、長期的視野に立つ基礎研究と経済・社会的課題に応える戦略的研究を推進する。
	国際競争力を強化するとともに、世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行う	「世界リーディング・ユニバーシティ」（世界三十傑大学）の実現に必要な国際競争力の強化に関する戦略であり、徹底した大学改革と国際化を全学的に断行することで国際通用性を高める。
	未来の産業創造・社会変革等に資する新興・融合分野など社会にインパクトある新たな研究領域を開拓	「世界リーディング・ユニバーシティ」（世界三十傑大学）の実現に必要な研究力強化に関する戦略であり、異分野融合による学際的研究の開拓を目的として優れた若手などが活躍する研究基盤を構築するとともに、政府や産業界などのニーズに応える取組等を重点的に推進する。
	東日本大震災の被災地域の中心に所在する総合大学として、被災からの復興・新生に寄与する多彩な活動を展開	「世界リーディング・ユニバーシティ」（世界三十傑大学）の実現に必要な災害からの復興・新生に関する戦略であり、東日本大震災からの復興・新生に資する成果の創出や東日本大震災で得られた教訓・知見を世界各国の課題解決に役立てる。
宮城教育大学	防災・復興教育を通じた地方創生への人材育成	教師が直面する課題がすべての段階のコミュニティに関係することから学校と教育を核とした地域創生に取り組み、戦略として防災・復興教育を通じた人材育成や課題解決に取り組む。
	広域拠点型大学としてのネットワークの強化	広域拠点型大学として、東北地区の国立大学間連携組織である「東北教職高度化プラットフォーム会議」機能を利用し、東北地方の各教育委員会等と連携して地域の課題解決に取り組む。
	インクルーシブ社会構築の理念に立った人権意識の高い教員養成	教育の格差及び障がい者差別解消に関連した課題解決に、様々なレベルの障がい者を含む関係者間の調停及び合意形成を行える能力を培う必要性が教員に求められており、これを実現するための戦略として、障がいのある学生の支援を充実し、そして、特別支援学校教員免許状の取得数の増加に取り組む。

大学名	戦略名	戦略の概要
秋田大学	大学経営の体制強化に基づく教育・研究の充実	学長のリーダーシップの下、平成27年度に各学部・研究科に設置した独自の学部運営システムである教育研究カウンシル及び運営カウンシルを活用し、柔軟かつ機動的な組織改革を実施する。また、学長直属組織である大学戦略室のIR機能を活かし、大学経営の体制を強化していく。
	資源学分野を核とするグローバル化の推進	秋田鉱山専門学校・秋田大学鉱山学部の蓄積を活かした国際資源学部を中心に、国内外の資源に関わる企業・政府機関等の多様な分野で活躍できる人材の養成を行い、我が国の資源・エネルギー戦略に寄与することを目指し、世界的な資源学教育研究拠点としての充実と、世界水準の教育基盤を確立させる。
	超高齢化に挑戦する社会・地域連携の強化	高齢者生活モデルの構築や地域企業等の事業承継の支援、地域の活性化拠点の形成、地域医療の中核的役割の強化等の取組を実施する。
山形大学	学生の実践力・人間力の育成（基盤教育改革と国際化対応）	中等教育からの円滑な接続を図り、人間力の育成に必要な知・徳・体を身につけさせるとともに、物事を主体的に思考し判断する能力を育成するために、基盤教育による人材育成、学士課程教育の充実などの取組を実施し、基盤教育を学生にとって最適な教育時期に行うことで、教育効果を最大限にすることを目指す。
	人口減の抑制、新産業の創出等、地域課題に向き合い地域を変革する人材養成（学部改革・大学院改革）	学部改組・研究科新設及び産官学金が一体となった人材育成事業、地域のグローバル化を目的とした人材育成事業を行い、特色と魅力のある教育プログラム等を新設することで多くの人材を呼び込むだけでなく、その教育プログラム等により、地域の現状・課題を知ると同時にそれを解決する能力を養成することで、地域貢献への意欲を向上させ、人材を地域に定着させる。また、優れた能力を持つ人材の養成や地域定着で地域に変革をもたらす。
	発展的研究拠点の拡充と形成推進（特色ある研究拠点形成）	工学部における有機エレクトロニクス研究、医学部における次世代型医療用重粒子線照射装置の研究開発及びゲノムコホート研究など、山形県が抱える諸課題を解決し、地域にイノベーションを起こし得る研究について、研究拠点を拡充するとともに、人材養成機能を強化するために研究科の改組を行う。また、理学部の総合スピ研究、人文学部のナスカの地上絵研究などについて、世界をリードする研究拠点の形成・拡充を行う。
福島大学	「21世紀的課題」に対応する教育プログラムの整備と教育改革推進のための組織の整備の一体的な推進	東日本大震災・原発事故からの学びを生かした『「21世紀的課題」に対応する教育プログラムの整備』と強靭に地域の課題に対応した人材育成を推進するための『教育改革推進のための組織の整備』を一体的に推進する。
	「21世紀的課題」、環境放射能分野、「未来創造型教育」における研究拠点形成	東日本大震災・原発事故により福島において加速している地域社会の多様な課題や社会問題、原発事故の被災地である福島において、地域社会の切実な問題である環境放射能分野、中心となって取り組んだ、東日本大震災からの教育復興プロジェクト「OEC D東北スクール」の活動により得られた経験・知見を発展させて行う「未来創造型教育」における研究拠点を形成する。
	大学の知的資源と復興への貢献を通じて得た経験知を生かした福島創生の中核的な知の拠点の形成	地域と共に歩む知「地」の中核的創造拠点として、復興の過程にある福島県及び社会が抱える課題の解決、社会の活性化及びイノベーションに基づく産業の成長に積極的に貢献する。
茨城大学	茨城大学型基盤学力育成	ディプロマポリシーで定める能力を育成するため、全学的な統括組織（全学教育機構）を整備。特に教務情報に基づく体系的な質保証（エンrollment・マネジメント）を先進的に行う。あわせて、高大接続を強化し、思考力・主体性・協働性など多様な能力を多面的に評価する入試改革を進める。
	地域経営力育成・強化	茨城大学のミッション「地域創生の知の拠点となる大学」の実現に向けて、茨城県をはじめとした地域に定着する学生を増やすとともに、地方創生の中核となる地域経営力を有する人材を輩出する。これに向けて、学部及び研究科における教育内容と教育研究組織の改革を進めるとともに、COC事業等を通じて全学的に地域志向を軸にした教育を展開する。また地域連携に関わる共同研究・共同事業件数を倍増させる。
	地域産業イノベーション強化	工学部、理工学研究科及び農学研究科における教育内容と教育研究組織の改革を進めるとともに、これまで培ってきた大学の強みを活かしつつ、地域産業及び社会イノベーションに向けて、共同研究などに取り組む。
	地域特性を生かした全国的教育研究拠点形成	日本原子力研究開発機構や産業技術総合研究所など地域にある世界有数の研究機関と連携した「量子線科学分野」と、茨城大学の強みであり本県の豊かな自然環境を生かした「地球環境変動及び地域環境分野」、湖沼に関する全国唯一の教育関係共同利用拠点である「広域水圏環境科学教育研究センター」について、それぞれ全国的教育研究拠点としての地位を確立する。
	グローバル展開	学生の英語力の強化（TOEICスコアの向上）、留学生受入400人以上、学術交流の大幅増などを目指し、全学的な国際戦略体制を構築し、アジア・太平洋地域を中心として、実践的英語教育の拡充、派遣・受入双方向の学生交流、国際的拠点整備などの取組を強化する。

大学名	戦略名	戦略の概要
筑波大学	国際的互換性・協働性を持った教育システムを構築するため、すべての教育課程を学位プログラムに移行し、地球規模で活躍できるグローバル人材を育成する。	教育組織と教員組織が分離されている強み・特色を最大限活かし、学位レベルでの国際的な質保証に対応しつつ、学生の個性と能力を開花させることができるよう、全ての教育課程を学位プログラム制へ移行することにより国際的互換性・協働性を持った教育システムを構築し、ミッションで掲げた地球規模で活躍できるグローバル人材を創出する。
	トランスボーダー連携により教育課程を共同（協働）で実施し、世界的な人材育成拠点として質の高い教育を提供する。	国内国公私立大学との教養教育課程等の共同実施、海外パートナー大学との国際共同学位プログラムの構築、研究学園都市の研究開発法人等との協働学位プログラムの構築などの実施により、高度で最先端の研究成果に裏打ちされた学位プログラムを構築し、地球規模で活躍できるグローバル人材を創出する。
	研究センターを改組・再編し、基盤研究、従来の枠組みを超えた学際横断型研究を推進する。	既存の研究センターの改組・再編など既存の研究システムを大胆に改革し、強み、特色のある分野において、真理を深く探究する研究（基盤研究及び学際横断型研究）を推進することにより、卓越した知の創造拠点として世界トップレベルの研究を展開する。
	外部機関との連携強化による社会還元型研究を推進する。	外部資金による新たな開発研究センターシステムの導入により、企業との共同研究等を通じた社会還元型研究を推進するとともに、強み・特色のある分野における社会還元型研究においても世界トップレベルの最先端研究を展開する。
	筑波研究学園都市を中核としたイノベーションエコシステムを形成し、我が国のグローバルな産業競争力強化に貢献する。	筑波研究学園都市内の関係諸機関によるイノベーション研究プラットフォームの構築などイノベーション創出のための一体的・一元的な基盤整備を進める。
筑波技術大学	障害者の高等教育に対するモチベーション向上を目的とした全国的な教育プログラムの実践および高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革の推進	手話・字幕・画像等の情報を同時に配信できる多地点共有通信システムにより、複数校を同時に接続したディスカッション形式の共同授業を実施する。また、特別支援学校を対象としたスーパー・サイエンス・ハイスクールのような体制の提案、創設によって特別支援学校を中心とした高大接続教育ネットワークの構築を図る。さらに、大学への編入学において問題が残っている特別支援学校の専攻科をサポートするために、筑波技術大学と専攻科との単位互換制度の導入を検討する。これら高大接続教育ネットワークの構築、実施によって、高等学校基礎学力評価テスト（仮称）を活用した個別選抜の方法を含めた大学入学者選抜を検討し、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革を推進する。
	「障害学生への支援機能強化推進」	授業・学修資料を多様な視覚特性に応じた媒体に自動変換するユニバーサル教材提供サービスの構築を行うとともに、このサービスを用いたラーニング commons の提供を行う。それにより、視覚障害学生が自らの障害にあった教材を用いて、能動的に学修できる環境を提供する。
	「合理的配慮を踏まえた職域拡大支援」	特色である障害者支援教育・研究基盤の強化を推進しつつ、他大学や医療機関等の外部機関とのネットワークを構築し、合理的配慮に関連する現状の課題等を迅速的確に把握できる基盤整備を行い、それに基づく、教育・研究の支援モデルの構築を段階的に行い、1人でも多くの高度資質を持つ人材を社会へ輩出する。また視覚障害学生に特化した新たな医療教育モデルを確立し、質の高い医療従事者を育成するとともに、企業や自治体など鍼灸師、理学療法士がこれまで十分に就職していない分野での職域を確保する。
	「情報保障技術を用いた社会貢献の推進」	東京オリンピック・パラリンピックに向けた視覚障害者・聴覚障害者の情報保障に関する情報保障技術（点字翻訳、視覚障害者情報保障、手話通訳事業）、視覚障害者・聴覚障害者の医・科学的支援、視覚障害者スポーツに特化した情報保障技術、地域と連携した障害者スポーツ環境の整備と充実化などパラリンピック支援を行う。
宇都宮大学	地域の知の拠点形成	新学部「地域デザイン科学部」（H28年度設置）を核として、地域の強み（地域資源・地域特性）を活かしたまちづくりを支える専門職業人の育成や地域との共創機能を強化することによって、地域の地の拠点を形成する。さらに新学部の実績を基盤として、文理融合を含め幅広い分野を融合した新しい大学院組織を設置する。
	地域人材育成の基盤強化	アクティブ・ラーニングと体系的学修評価による教育の質向上サイクルの確立のための「大学教育推進機構」の設置、教職大学院を核とする学校教育の質向上への貢献、地域イノベーションを支える専門職業人の育成にそれぞれ取り組み、行動的知性と実践的専門性を兼ね備え、3C精神（Challenge Change Contribution）を持って、地域において新たな価値の創造を支えることができる人材を育成する。
	グローバルリーダーの育成	国内外の様々な地域のグローバル化に関する課題解決に貢献するグローバルリーダーを育成するために、全学副専攻「グローバル人材育成プログラム」の拡充、基盤教育での英語教育改革の実績を踏まえた実践的英語教育の推進強化、日本人学生の留学等の機会・環境の改善、国際交流の拡充、「国際キャリア開発プログラム」等の特徴的プログラムの拡充を図る。また高大連携事業を継続的に実施し、地元高校生に質の高いサイエンス教育ならびにグローバル教育を提供する。
	地域イノベーションの創出ー強みと特長を有する研究の戦略推進ー	フードサイエンス、ものづくりにおける融合的イノベーションの創出、光工学分野などの世界に通じる先端的研究の開発・推進に取り組み、地域志向研究を活性化して、新産業の創出や既存産業の高付加価値化に結びつく地域イノベーションの創出を目指す。
群馬大学	地域連携教育の推進によるグローバル人材の育成	地域と連携した教育体制を整備し、社会ニーズをふまえた教育プログラムの推進を行い、学士力を備え地域を志向した人材の育成、地域の専門人材の育成等、社会ニーズに応えられるグローバル人材の育成を全学の力を結集して進める。
	グローバルレベルでの最先端研究の推進	研究の全学的展開のプラットフォームとして「未来先端研究機構」を活用し、「統合腫瘍学（重粒子線によるがんの治療開発等）」「内分分泌・シグナル学（生活習慣病の病態解明等）」などの重点領域分野を核として、先進医療の研究、低炭素化材料の開発などの各専門分野の最先端を切り開く独創的・先駆的な研究を推進する。
	組織再編と教養教育改革を軸とした教育改革の実現	学長の下に専門的な知識・スキルを有する人材を配置した1R室を設置して、社会ニーズをふまえた教育プログラム・研究成果などのモニタリングや効果などの測定・分析等を実施する。エビデンス分析に基づく質保証を強化する機能を基盤的に整備することで、国立大学の基本的な役割を前提としつつ、時代の変化や社会の要請も踏まえた組織再編と教養教育改革を軸とした教育改革を実現する。

大学名	戦略名	戦略の概要
埼玉大学	イノベーション創出と地域活性を目指した融合科学研究・開発の推進と人材育成	学内外協働による、社会で活躍する理工系博士人材の育成機能強化を進展させ、理工学研究科と人文社会科学研究科を部分的に統合再編して融合科学研究科を設置する。それとともに、事業化等を見据え、地域社会・世界とのインターフェイスとしての先端産業国際ラボを設置し、共創型ワークショップや先端産業インキュベーションを実現する。
	地域ニーズに即した人材育成と教員養成	「埼玉大学All in Campus at 首都圏埼玉」のビジョンのもと、地域ニーズに即した人材育成と教員養成を推進するため、入口から出口までを総合的に支援する統合キャリアセンターSUを設置し、高大接続プロジェクト、COC人材育成プロジェクト、および教員養成の高度化を目指した教員ステップアッププロジェクトに全学的に取り組む。さらに、実践的教員の養成のため、新たに設置した教職大学院の機能を拡充する。
	強みを有する分野の国際教育研究拠点化	埼玉大学を国際教育研究拠点化するため、理工学研究科戦略的研究部門を中心に国際共同研究を推進するとともに、学部・大学院の組織の見直しを行って理工系人材育成機能を強化する。また、理工系で取り組むLab-to-Lab国際プログラムを全学展開するとともに、多様なグローバル人材育成プログラムを統合して埼玉大学のグローバル化を促進する。
千葉大学	グローバルプロミネント研究基幹による独創的な次世代研究の創出と戦略的推進	基幹長（学長）のリーダーシップの下、海外機関から招聘する外国人研究者等を加えた研究強化マネジメント等専門組織であるGP運営部門による戦略的な観点からの重点推進分野の分析・評価等と、当該分野の状況・環境等に応じた効果的・効率的資源配分等のオーダーメイドの支援等の強化方策により、GP研究部門において世界レベルの研究の創出とそれに基づく国際的卓越研究拠点を形成する。また、GP研究基幹付属次世代研究インキュベータにおいて次なる重点推進分野を育成する。
	国際未来教育基幹の創設による世界水準の教育実践と次世代型人材育成	「国際教養学部」による現代的リベラルアーツ教育の創出、「国際未来教育基幹による全学的教育改革の推進と世界水準の次世代型人材育成」による学長をリーダーとした教育改革推進体制の整備、学長補佐（プロボスト）による教育システムマネジメント、海外トップ大学との連携推進、先進科学プログラムの拡充、「学士課程教育の改革に向けた新たな教学支援システムの構築」による学修支援システムの構築、教育資源作成・共有システムの強化を重点的に実施する。
東京大学	東京大学の国際的な強みと特徴を捉え、世界をリードする。	研究・教育の国際的卓越性を飛躍的に推進させた「知の拠点」としての国際高等研究所を世界から人材が集うトップレベルの研究者集団として完成させ、国際的に競っている喫緊の最先端研究をリードする。同時にその研究成果を「主体的学び」教育へ転用する取組でもある。加えて、それらの研究・教育の基盤をもって、新しい卓越した大学院教育を展開することを視野に入れ、国際卓越性のさらなる追求や、人材循環機能など国内外ハブ機能を強化する。
	新学術、融合領域を世界に先駆けて創出するとともに、新しい価値創造を支える「知のプロフェッショナル」を育成する。	学部教育改革を定着させ、世界最高の学びの舞台を創ること、また、世界の優秀な若手人材を惹きつけるための教育システム改革を実施するなどの取組を検討し、既存の事業に加え、「多様性の中でのグローバル人材養成プロジェクト」、「革新的価値創造を支える高度専門人材育成プロジェクト」、「新学術・融合領域開拓プロジェクト」の3つのプロジェクトに取り組む。これらのプロジェクトに取り組むことにより、多様性、卓越した研究力、価値創造の仕組みを基盤に、三つの基礎力・一つの視野を養うとともに、世界的視野で活躍し、新しい価値創造を支える「知のプロフェッショナル」を育成する。
	知に牽引される革新のエンジンとなる。	国境、文化、世代、産学官の壁を越えて様々な人々を惹きつけることで価値創造に参加する層を拡げるとともに、知の探求を知の活用へとつなげる環境を備えた「知の協創の世界拠点」を創るため、「価値創造につながる産学連携」を生み出す仕組みの確立、イノベーション・エコシステムを進化させ起業の先進空間を形成、筑波-柏-本郷イノベーションコリドー構想等の実現を目指す。
東京医科歯科大学	統合的先制医歯保健学の世界的教育・研究拠点形成	新たな概念の先制医療の研究を推進するとともに、国内外で活躍できるグローバル人材を育成するため、各種医療情報を統合的に扱う統合的先制医歯保健学の世界的教育・研究拠点を形成する。
	医学・歯学教育の国際化推進	これまで継続的に取り組んできた医学・歯学教育改革や海外拠点活動の実績を基にさらに発展させ、先進国平均水準を超える医学・歯学教育カリキュラムの革新的なアドバンス・モデルを先駆的に開発・発信するとともに、東南アジアを中心にTMDU型歯学教育を浸透させて歯学教育の国際化を牽引する。
	健康長寿社会の実現に寄与する先端医歯工学研究拠点形成	特色・強みである先端的な医学・歯学・工学の有機的な連携を図り、基礎研究を速やかに医療の現場に生かす先端医歯工学研究拠点を形成することで、優れた研究成果の情報発信や社会実装を促進する。
	教育研究力強化のためのマネジメント改革	海外を含めた学内外のデータを集積・分析して教員評価・給与体系などの国際通用性を高めることで、外国人教員等の雇用環境整備を促進して教育研究の国際化を推進するとともに、各分野の教育・研究における強み・弱みを把握・分析して細分化された分野を領域化（大括り化）することで、学内資源を効率的に活用して教育研究力を強化するものである。
東京外国語大学	日本発信力を備えた多言語グローバル人材の養成	「人と知の循環を支えるネットワーク中核大学」としての機能を強化するなかで大学のグローバル化をすすめる、その一環として、「多言語」能力をもった人材育成機能の高度化、「コンフリクト耐性」をもった「グローバル人材」養成機能の充実、職業を明確に意識した教育プログラムを実現し、教育面での機能強化を実現する。
	世界と日本の問題解決に資する研究の推進	「日本発信力強化」を計り、大学院総合国際学研究科博士後期課程の平成30年度の改組、国際日本学部（仮称）の平成31年度の創設に取り組む。日本の多文化化問題の解決、世界の日本研究のネットワーク化に取組み、理科系他大学との連携による文理協働型の研究領域の開拓、世界と日本の問題解決に資する研究の総合化を実現する。
	地球市民の共存・共生に寄与する社会貢献	独自の専門性と知的資産を活かして、日本で暮らす外国人児童に対する教育支援を多面的に実施、本学の社会貢献事業を「社会国際貢献機構」のもとに集約して地球市民の共存・共生に寄与する社会貢献の実現に取り組む。
	ガバナンスの強化による大学組織の効果的・効率的な運営	多摩地区に位置する3大学（東京農工大学、電気通信大学、東京外国語大学）間の連携により、文理協働型の教育研究体制の整備を目指すものであり、これにより、3大学の研究力・教育力・技術力を結集した新たな実践型グローバル人材養成モデルを構築する。

大学名	戦略名	戦略の概要
東京学芸大学	次世代育成教育を担う教員の養成	アクティブ・ラーニングを指導する能力と、チームアプローチ力を重視した新しい教員を養成する仕組みを構築し、教育学部と大学院において次世代育成教育を担う教員の養成に取り組む。また、AO (Admission Office) の機能を持つ組織を設置して、次世代育成教育の教員に適した人材を選抜するとともに、グローバル化の観点から、入学した学生を海外に派遣して多様な経験を積ませることで、現代の教育課題に積極的に対応できる教員の養成を行う。さらに教職員に対して体系的なPD (Professional Development) を定期的実施して、次世代育成教育の理念と方法を、教職員に徹底する。また、大学院修士課程に「東京学芸大学専修免許スタンダード」を設置し、大学院を修了した教員の高度化を図るとともに、国際バカロレア教育の教員を養成する。
	現職教員に対する次世代育成教育の研修	全国の教育委員会等と連携して、現職教員の研修に関するニーズを調査・分析するとともに、強みを生かした先導的な教育実践研究とその基盤となる基礎研究に基づいて、次世代の子どもの育成を目指した諸課題を具体的に検討し、教育改革に資する研修プログラムを開発する。併せて現職教員研修を効果的に実施するために、本学にある教育実践研究支援センター等を再編し、現職教員研修の機能を統合した組織を整備する。
	次世代育成教育の実現に向けた教育支援	スクールカウンセラーやソーシャルワーカー、ICT教育支援員等の教育支援者を養成するとともに、多文化共生の観点から、在外日本人の児童・生徒の教育支援のあり方等を検討し、関係諸機関と連携して教育支援モデルを構築する。また、経済的に困難な家庭状況にある児童・生徒に対する支援に関する調査研究を進め、その研究成果を大学や附属学校の教育及び教育支援に反映させるとともに、全国に発信する。また、教育学部のカリキュラムにチームアプローチ力を養う授業科目を開設して、学校教育に関する知識を持った教育支援者と、教育支援の必要性を深く理解した教員を養成する。
	次世代教育モデルの研究・発信と拠点作り	次世代教育の推進を実践していく中で、OECDが目指すEducation2030の一環として東京学芸大学が協働して開発する教育方法や、大規模教員養成系4大学（北海道教育大学・愛知教育大学・東京学芸大学・大阪教育大学：HATOプロジェクト）で協働開発した教育内容の成果等を国内外に積極的に発信し、教育改革を先導する拠点機能を果たす。
東京農工大学	世界と競える先端研究力の強化	農学、工学及びその融合領域において国際的に高い評価を得ている研究力の強化、研究特区として新たに創設する「グローバルイノベーション研究院」における先進的な研究の推進及びこれを支える研究支援体制の強化、世界水準の研究論文の発信の促進、国内外の優秀な若手採用に向けた人事制度改革の加速、優秀な産業界人材及び外国人・女性研究者を積極的に登用等を実施する。
	国際社会との対話力を持った教育研究の推進	研究大学としての特色を生かした教育研究の推進、国際共同研究・国際共著論文の増加、海外の研究者・学生を惹きつける魅力的な教育研究環境の整備、海外連携大学とのダブルディグリー等によるグローバルな教育環境の整備、世界標準に対応した学位プログラムの実施と質の保証等を実施する。
	日本の産業界を国際社会に向けて牽引	我が国の産業界強化に資する実践的研究の一層の推進、産学連携による新たな産業の創出と国際社会への展開の促進、日本の産業界を世界に牽引する高度な専門職業人材の養成、イノベーションを継続的に創出するための農工大発イノベーション・エコシステムの構築等を実施する。
	高度なイノベーションリーダーの養成	イノベーションの礎となる高度な専門能力を有する人材の育成、実践的なリーダー養成システムの構築、イノベーション人材養成を担う教職員の更なる意識改革の推進、学内の支援組織の改革、イノベーション人材養成体制の強化等を実施する。
東京芸術大学	海外一線級アーティストユニット誘致を基軸とした教育研究組織・人材育成プログラム改革等による世界トップアーティストの戦略的育成	海外一線級アーティストユニットの誘致等、海外一流芸術大学等との連携・ネットワーク基盤を一層強化し、「世界を魅了するトップアーティスト育成」を実行するための戦略的な大学院組織整備や世界最高水準の実践型グローバル人材育成プログラム構築を推進することにより、国際舞台で躍動する芸術家育成を加速化する。
	国内外一線級アートプロデューサーユニット誘致を基軸とした教育研究組織・人材育成プログラム改革等による世界展開力・大学経営力強化	芸術分野に関わる国内外一線級のプロデューサーやディレクター、キュレーター等との連携・ネットワーク基盤を新たに構築し、我が国のアーティストや作品等芸術文化価値・リソースの世界展開を牽引する「世界を席巻するアートプロデューサー人材育成」のための戦略的な大学院組織整備や先駆的な人材育成プログラム構築を推進するとともに、これと連動して、大学の経営力を高めるための発信力強化やブランディング等、国際プレゼンス向上のためのマネジメント改革を実行する。
	我が国固有の芸術文化力や産学官連携基盤を活かした教育研究組織・人材育成プログラム改革等によるイノベーション創出・国際芸術拠点形成	我が国が世界に誇る芸術文化力を武器に、世界展開を視野に入れた産学官連携基盤を活かしたイノベーション創出等を担う「世界を先導するアートイノベーション人材育成」のため戦略的な大学院組織整備や先導的な人材育成プログラム構築を推進するとともに、“上野の杜”の芸術文化資源を活かし、アジアにおける中核拠点としての機能を抜本的に強化することにより、世界を代表する「国際芸術教育研究拠点」へ飛躍する。

大学名	戦略名	戦略の概要
東京工業大学	世界のトップスクールとしてのカリキュラムの構築及び大学院教育の英語化を核とした国際化の推進	大学の総力を結集して教育改革を行い、学部・大学院一貫教育により、学生のキャリアパスに沿った能力養成を実施し、グローバル社会で活躍できる修士、世界トップレベルの研究者・リーダーとなる博士の輩出を目指す新しい教育システムの構築と、徹底した英語化を推進し、次代を切り拓く国際レベルの理工系人材を育成する。
	教職員と学生の教育の質を自律的・持続的に向上	若手教員が教育力を身に付け、又は向上を図るため、他大学との人事交流等の仕組みを構築し、その機会を組織的に支援するとともに、教員から学生への受動的な教育環境から、教員と学生による協働や学生間の能動的・自律的な学び合いの教育環境を構築し、相互の切磋琢磨により、世界トップレベルの教育力を培い、自律的・持続的に教育の質を向上させる。
	国際的な研究活動を展開するための「世界の研究ハブ」の実現	既存の研究所等を改組・集約するとともに、これまでの部門制を廃止し、新たな研究領域や次世代産業の芽の創出を目指す科学技術創成研究院を新たに設置する。その中に、本学が培ったWPI拠点のノウハウを活かした「Tokyo Tech World Research Hub Initiative (WRHI)」を置き、世界から第一線級の研究者、研究グループを招へいすることなどを通じた、国際的ネットワークの強化や学生と教職員の国際交流の飛躍的な活性化により、東京工業大学が理工系分野における知と人材の世界的環流のハブとなることで「真の国際化」を目指す。
	世界の先陣を切って新たな研究分野を開拓していくための柔軟な研究体制の構築	科学技術創生研究院の中に、東京工業大学が重点とする研究開発分野を推進する時限付きの柔軟性のある研究ユニットを構築し、インセンティブを付与できる給与制度や複数組織兼担制等を積極的に活用しつつ、研究スペースの優先的配分、研究に注力できる環境整備等により、世界トップレベルの研究者と共同研究できる体制を整備し、飛躍的な研究開発の発展を促す。
	総合的な研究力を高めるための環境整備	研究設備の管理・共用化の促進、及び研究スペースの全学的管理について、研究実施において基盤となる研究環境をシステム活用により整備することで、中長期的な観点から全学的な研究資源マネジメントを行い、東京工業大学における総合的な研究力を高める。
東京海洋大学	海洋科学技術研究における中核的拠点形成	「練習船」をはじめとする共同利用施設等のリソース活用を更に促進し、大学の枠を超えた産官学連携のグローバルな調査研究に取り組む「練習船・共同利用施設を活用した国内外の産官学ネットワークに基づく研究」を推進する。また、海洋に関する総合的な「科学と技術(Science and Technology)」の大学としての東京海洋大学の強み・特色を生かし、海洋に関する様々な研究分野との連携を図り「海洋利用の新時代に向けた海洋環境観測・生態系ストレス検出技術の刷新」プロジェクトの実施を通じて次世代型海洋観測技術開発の中核を担う。
お茶の水女子大学	高度な専門的知識を有したグローバル女性リーダーの育成	社会的ニーズに応えるグローバル女性リーダー育成のため、学部・大学院一貫教育による新たな学修トラックの導入、高大接続教育プログラムによる高校・学部・大学院における学修の連携、出口戦略による大学院生の就職力強化、一貫した語学プログラム、ダイバーシティ、グローバル文化の学修プログラムの構築によるグローバル人材育成などに取り組み、教育方法刷新をパッケージ化して行うことにより、教育を高度化する。
	グローバル女性リーダー育成のための国際的教育研究拠点形成	グローバル女性リーダー育成研究機構を設置して、国内外から女性研究者を招へいし、女性のリーダーシップ育成と男女共同参画社会の実現に貢献する教育研究を通じて、世界で活躍できる女性リーダーの育成機能を強化する。さらに、高度な学び直しの機会を社会に提供するとともに、新たな女性リーダーシップ論を世界に発信する。
	健康科学・人間発達科学分野における国際的研究拠点形成	ヒューマンライフイノベーション開発研究機構を設置して、少子高齢化社会における社会的諸問題について、「こころ」と「からだ」両側面からの研究・開発によるイノベーション創出、および子どもから青年期以降までの発達の本質の向上に向けた革新的・効果的施策を創出・提言する。
	教育研究成果の活用による社会貢献	災害時にも途切れない教育システムを構築するため、連携（全国に連携地域・組織を設定し、我が国全体に教育セーフティ・ネットワークを張り巡らせる。）、パッケージ化（特別教室やその備品なしでも実施できる教材教具を開発・パッケージ化し、連携組織の協力をその有効性を検証し、実装する。）、データベース（これまでの災害で得られたデータ・ノウハウや、新たに収集・作成したデータを集約し、今後の災害に備える。）の3要素に関して、6年間で実践的な研究・開発を推進する。
電気通信大学	情報通信領域を先導する特色ある教育研究の戦略的推進	教育研究の推進により情報通信領域をリードし、『総合コミュニケーション科学』を実践する教育研究の世界的拠点を実現させるため、組織の再編成、ガバナンス改革を含む特色ある教育研究の取組を推進する。
	『光る』研究（オプティクス分野）で、最先端研究拠点を形成	強み・特色である情報通信領域の中でも、特に突出した力を有する光科学（オプティクス）分野を最大限に活かし、学長のリーダーシップの下重点的に資源を再配分し、世界水準の最先端研究の推進と、高度専門性を身に付けたイノベティブ人材育成の展開拠点を形成する。
	特色ある研究を融合させた革新的学際・融合分野を創造	強み・特色である情報・通信・電子・ロボティクス・光科学などの情報通信領域に他の領域との協働を積極的に取り組むことで情報通信領域の諸分野の高い実力を最大限に活用し、社会的課題のソリューション創出を実現する革新的な学際・融合分野の創造を推進する。分野横断的な広い視野と革新的研究を切り開くイノベティブ人材の育成と、『総合コミュニケーション科学』を実践する世界水準の研究の展開を、加速度的に推進する。
一橋大学	社会科学高等研究院を中核とする世界最先端の研究の推進	全学で推進する研究戦略の企画・立案、部局の垣根を取り払った重点的な資源投入、国際共同研究のインキューバタ機能という役割をもった学長直属の研究組織である社会科学高等研究院を中核に、グローバル経済システム、医療・介護・社会保障、マネジメントイノベーションなど世界及び日本における喫緊の社会的課題解決に全学で取り組む重点領域プロジェクトを実施する。
	世界最高水準のプロフェッショナル・スクールの構築	本学はプロフェッショナル（高度専門職）の養成に強みを持ち、ビジネス、法、政策等のプロフェッショナル教育の質は、日本で最高水準との評価を得ている。グローバル化する社会においても、高い水準の研究と一体となった良質な教育により、国際的に通用する人材を育成するために、プロフェッショナル教育を更に強化・発展させ、世界最高水準のプロフェッショナル・スクールを構築する。
	質の高いグローバル人材の育成	森有礼高等教育国際流動化センターを中心とするIRに基づき、国際通用性を高めたカリキュラムを構築し、国際流動化を促進する学期制を導入し、意欲と能力のある学部学生全員に対して、費用対効果の高いグローバル教育ポートフォリオを用意する。

大学名	戦略名	戦略の概要
横浜国立大学	教育戦略 ◎グローバル新時代に対応した全学 一体の教育組織改編 ◎世界で信頼される実践的人材の育 成のための教育の質保証	横浜・神奈川に立地し、人文・社会系学部と理工系学部が一つのキャンパスにある優位性と多くの留学生が学ぶ特色を活かし、文理融合と分野横断を追求するとともに、グローバルな視座を有しローカルな課題に対応できる人材を育成する教育体制を整備することにより、教育機能を強化する。さらに、強み・特色である幅広い専門性と多様な応用力を涵養する教育を活かし、社会的要請を十分に踏まえ、国内外の優秀な学生を集め、国際レベルの実践的で高度な教育を行うことで、グローバル社会で活躍する実践的人材の輩出を目指す。
	研究戦略 ーリスク共生学を始めとする文理融 合研究・先端科学研究の実践的学術 の国際拠点ー	様々なリスクを克服して、それらとの共生を目指す社会を構築するため、「リスク共生学」をはじめとした、高度な重点分野研究、実践的基盤研究、及び分野横断型研究を推進する。また、人文系・社会系・理工系の分野が一つのキャンパスにある優位性を活かし、また同時に、専門分野に応じた多様な評価指標に基づいた戦略的な研究支援を行うことによって、強みや特徴を活かした研究を強化する体制を構築する。
新潟大学	《人材養成システム改革》 新潟大学型質保証による学位プログラ ムの推進を中核とした教学システム 改革	総合大学としての自らの特性を活かした分野横断的な拠点を志向する戦略として、全学科目化、主専攻・副専攻プログラム等の他大学に先んじた教育資源を機能させる体制を構築。学長直轄の本部と全学組織である教育・学生支援機構の再編及び連携強化により、学部等の教育プログラム再構築等を促進し、全学を挙げた教学システム改革を具体化する。
	《社会貢献システム確立》 「環東アジア」地域教育研究拠点形 成と地域社会への還元システム構築	全学組織の再編・新設等を通じて、県域をはじめとした行政・産業界・大学間等各方面ネットワーク強化による国内の日本海側地域への貢献と、対岸アジア社会との交流を基とした環東アジア地域との交流活性化を実現する。
	《イノベーション創出環境醸成》 脳・神経科学分野はじめ連携・融合 研究促進のためのネットワーク型研 究体制転換等によるイノベーショ ン・システムの確立	強みである脳・神経科学研究をはじめ、特色ある研究分野を中核として、連携・融合研究や国際共同研究、人材多様化を促すことを通じて強み・特色の更なる強化を行う。これにより、健康長寿社会形成への貢献につなげ、また、イノベーション創生の場となる活力に富んだ研究環境を醸成する。
長岡技術科学大学	高度ものづくり人材育成を目指す技 学教育の継続的発展	高度な技術力を持ち、未踏領域・未踏分野に挑戦し、技術イノベーションを興せるタフなグローバル技術者を育成すべく、「教育戦略本部」を設置し、学生の主体的・能動的な学びを支援する施設・設備の整備、教育改革プログラムの高度化、高専・技大連携教育と入試の一体的改革を推進するとともに、日本人学生の英語力強化、留学生受入れの倍増を支える受入れ支援・混住型宿舍整備等、国際連携教育プログラムの基盤を強化する。
	未来技術分野での世界レベル研究拠 点の形成と地域産業の活性化	本学の強みである材料科学、制御システム、グリーンテクノロジーを中核にした「未来技術科学創造研究機構」を設立し、それらの更なる深化と融合・フロンティア研究の推進により、安全・安心・低環境負荷指向型未来社会構築の研究拠点を形成する。さらに、得られる研究シーズ、全国高専・海外連携大学とのネットワークを基に、産学官連携の戦略を策定し、技学グローバルセンターにて起業人材育成と研究開発へと展開し、国内外の地域産業を活性化する。
	技科大と高専が連携・協働したグ ローバル・イノベーション人材の育 成	国立大学改革強化推進事業「三機関連携の教育改革」で進めてきた、「高専・技大の教員・学生の連携による、ものづくり地域の活性化を通じたグローバル・イノベーション人材育成」について、「技学イノベーション推進センター」を核とする、GI-netを基盤とした高専・ものづくり地域網との連携による教育・研究と、「国際教育センター」を核とする、各地域・海外拠点網との交流による国内外地域の継続的発展への貢献、本学教員・高専教員の継続的養成を図ることにより、地域への学生の就職や地域産業に貢献する人材を育成する。
	大学運営組織の自己改革 ー教育・ 研究・運営改革ー	年俸制及びクロスアポイントメント制度の積極的活用等による若手教員や民間企業経験者など多様かつ専門性の高い人材の確保、IRに基づく戦略的・客観的な資源の再配分、及び監事や外部有識者の意見の積極的活用によるガバナンス強化により、大学運営組織の自己改革を推進する。
	上越教育大学	次世代のための新たな教員養成教育 課程の開発・導入
	地域・学校現場における課題解決型 プログラムの開発・体系化	現代的な教育課題の解決に向けた研究を推進するため、教育委員会や学校現場等との連携体制を強化するとともに、学校現場における指導経験を有する者や教育実践に関する研究実績を有する研究者等を配置するなど、研究実施体制を強化し、支援に係る組織体制を充実する。
	入学から卒業・修了までの一貫した 総合的な学生支援の構築	進学者と保育士就職者を除く卒業生の教員就職率を80%以上、修士課程においては75%以上、専門職学位課程においては100%を目標とするほか、学校でのボランティア活動等の体系化を進め、支援体制を強化し、入学から卒業・修了までの一貫した総合的な学生支援を実施する。
富山大学	ミッションの再定義等を踏まえ、地 域での社会的役割や本学の強み、特 色を生かす教育研究組織を見直し、 組織再編を行う。	学内資源の戦略的再配置により教養教育組織を整備し、全学的な教育システム改革に取り組むとともに、富山の自然環境及び地域産業等の特性を生かした教育研究組織の再編に取り組む。
	生命科学および自然科学で世界レ ベルの先端的、独創的、学際的・分野 横断的研究を推進する。	医薬関連分野、理工関連分野、和漢医薬学と先端医薬学を融合した東西医薬学を基盤とする領域の3分野において、世界レベルの先端的、独創的、学際的・分野横断的研究を推進することを目指す。
	地域活性化の中核拠点として、自治 体と連携し、教育・研究・社会貢献 の分野において、地域社会の活性化 に寄与する。	地域産業の振興と地域の魅力向上、医療・福祉の充実と健康づくり等の地域課題を解決するために、地域を支える人材育成を中核に据えながら、地域との連携を通じ、地域の課題解決に取組む。

大学名	戦略名	戦略の概要
金沢大学	世界で活躍する「金沢大学ブランド」人材の育成	「金沢大学<グローバル>スタンダード」に基づく質の高い教育を提供するとともに、徹底した教育システムの国際化により、世界で活躍する「金沢大学ブランド」の人材の輩出を目指す。
	金沢大学が世界に誇る研究拠点の形成	「新学術創成研究機構」を通じて、「がん進展制御研究」、「革新的統合バイオ研究」、「未来社会創造研究」の3研究コアを設置して、金沢大学の卓越した研究分野をより先鋭化し、国際的な研究拠点形成を目指す。
	徹底した国際化の推進による教育研究力の向上	国際レベルの人材育成と強力な国際競争力を備えた研究拠点形成のため、教育研究システムのより一層の国際化を図る。
	持続的社会的実現に向けた教育研究成果の社会実装	・地域社会の課題解決に資する世界的先端研究の社会実装に向けた地域協働研究の実施 ・先端的研究成果と人材養成を複合的に組み合わせ、社会が持続的に発展できる教育モデルの構築と実施
	積極的なガバナンス改革	研究力強化とグローバル化を実現するための人事制度改革、大学の戦略に即した資源（ヒト・モノ・カネ）の適正配分を行う。
福井大学	国際標準の教育の推進、学生の修学支援強化、国際化など、教育機能強化のための改革を継続的に実施し、本学の強み・特色である学校拠点方式と医教連携による先進的教員養成・教師教育、最多の原子力発電所が立地する地域特性を活かしたグローバル原子力人材育成などを一層推進して、教・医・工・国際地域の各分野において優れた人材を養成する。	教育課程の国際化と国際評価等教務システムの再構築による国際化を進めるとともに、子どものこころの発達研究センターと教職大学院の医教連携による養護教員研修システムの構築や原子力人材育成拠点の構築に努める等、学内外の連携による人材養成を推進する。
	学長のリーダーシップに基づく資源の集中・有効活用や学部・大学間連携による先端的研究を推進して、本学の強みとする画像医学、遠赤外領域開発、原子力安全等の分野において、新たな「知」の創出と国際・全国レベルの研究拠点形成を進める。	画像医学、遠赤外領域開発、原子力安全等の分野において、国内外の他機関との共同研究及び人事交流を推進し、国際的な研究拠点を形成する。
	教育、産業振興、医療の分野等で、「知」の中核的拠点として、地域創生のために地域と協働した取組みを推進する。	社会人の学びを支援するシステムの構築、地域産学官官で設立された「ふくいオープンイノベーション推進機構」と連携した共同研究の実施、多職種連携による在宅医療や救急医療の推進を通じて、地域創生の中核的拠点をを目指す。
山梨大学	全学（4学域）の研究力を結集した諸学融合による、新たな知の創造と世界に通用する人材を育成する教育への展開	諸学融合への取組を深化させ、新たな時代を切り拓く知の創造を図る。また、これらの成果に基づく高度な教育を行い、多様な価値観を尊重する姿勢と自律性を身につけ、専門性と真のグローバルな視野を持って持続可能な社会の創生とイノベーションに貢献できる人材育成を目指す。
	地域の要請に応える研究、地域志向型教育を通じ、地域の課題を解決できる実践的人材の育成	地域の基幹的大学として「知の拠点」の役割を果たし、地域の発展に貢献するとともに地域振興の課題に取り組み、新たな時代を切り拓く知の創造を図る。 また、その成果に基づく高度な教育を行い、多様な価値観を尊重する姿勢と自律性を身につけ、持続可能な社会の創生とイノベーションに貢献できる人材育成を目指す。
信州大学	世界水準のファイバー工学分野を中心とした先鋭研究領域の融合と頭脳循環による国際教育研究拠点の形成	「繊維・ファイバー工学」等の信州大学が強みとする5つの分野に学内資源を集中させて設置した先鋭領域融合研究群において、世界第一線級の研究者を招へいし、国際教育研究拠点をめざるとともに高度研究力と国際的実践力を有する理工系グローバル人材を育成する。
	ファイバー工学、山岳科学分野における大学間連携人材育成、生命医学分野における学際的前端科学技術を開拓できる人材育成	総合理工学研究科において、戦略1に掲げる先鋭領域融合研究群の研究成果を活かした人材育成を実施する。強み・特色ある分野における大学間連携プログラムや、学際的前端科学技術分野における教育プログラムを実施し、全国的な教育研究拠点としてグローバルな理工系人材やイノベーション創出人材ニーズに対応する。
	地域創生・地域課題解決人材ニーズに応えるための実践的教育体制の構築、健康長寿関連分野や防災分野を中心とした地域産学官連携体制の強化	地域・社会への発展に貢献するため、多分野にわたる全国的な教育研究拠点としての活動を実施する。そのため、文系学部を中心に地域の人材ニーズに応える改組・再編を行い、地域課題解決のため実践的教育を展開するとともに、学内の地域産学官連携関係組織を再編・拡充し、総合大学として多分野にわたる教育研究による戦略的な地域連携を実施する。
岐阜大学	イノベーションを支える理工系人材の養成（理工系修士課程の改組）をはじめとする、高度な専門職業人の養成と地域単位でのTeach for Communitiesを推進する。	教育推進・学生支援機構が中心となり、対話と協働による変革を促進する教学環境を活かしてイノベーションを支える理工系人材（理工系修士課程の改組）など、高度な専門職業人を養成し、中核的拠点大学としての姿を地域単位でのTeach for Communitiesを推進して示す。
	海外協定大学と連携および協働して企業参画型グローバル・リーダー養成プログラム（ジョイント・ディグリープログラム等）を段階的に種々整備・実施することにより、大学の実質的な国際化と地域の活性化を推進する。	学長直轄組織であるグローバル推進本部が推進役となり、海外協定大学との連携及び協働を促進し、企業参画型グローバル・リーダー養成プログラムを段階的に整備・実施する。

大学名	戦略名	戦略の概要
静岡大学	地域の人材育成の中核拠点を目指した機能強化戦略	地域社会の具体的な課題群を題材とした教育研究活動を拡充し、課題解決のための社会連携の取組を促進するとともに、学生及び地域住民を対象とした教育プログラムを構築する。加えて、行政機関や地域ニーズ等に対応し、平成28年度発足する地域法実務実践センター及び防災総合センターにおいて、行政関係者、教員、企業関係者等を含めた社会人教育を展開する。
	地域と連携したグローバル戦略（産業界と連携したグローバル人材育成システムの開発と人材育成）	「グローバル企画推進室」を中心に、「アジアブリッジプログラム（ABP）」に付随した入試改革、教育課程の再編、学生支援のより一層の拡充を進めるとともに、産業界と連携したグローバル人材教育システム（インターンシップ、留学生の受入れ、学生の海外派遣等）を更に充実させ、企業の海外展開等を支える人材の育成に取り組む。
	強み・特色を生かした理工系イノベーション人材育成戦略－修士・博士課程の一体改革を含む新しい教育研究拠点の構築－	光応用分野等の最先端の研究分野を中心に、修士課程・博士課程の連続性・接続性を踏まえた教育プログラム整備、文理融合を含む修士課程の新分野・融合領域教育への取組を進め、専門分野に捉われない広い視野から物事を俯瞰できる能力や国際的な舞台上で活躍できる能力を持った理工系イノベーション人材育成を目指す。
	強み・特色ある研究分野を更に伸ばすことを目指した機能強化戦略	地域の「知」の拠点として地域活性化に貢献するために、静岡県による産業集積プロジェクトと連携し、IT（情報）をベースにした光応用・イメージング、環境・エネルギー、グリーン・バイオを中心に競争力のある研究推進体制とネットワーク化を進め、次世代の成長産業のシーズとなる世界的な研究成果を発信する。
浜松医科大学	光を用いた最先端医学研究の推進と人材育成	新たに設置した光先端医学教育研究センターを中心とした横断的な研究の推進により、新たな医療技術を開発するとともに、光医学の新たなカリキュラム、講習会を開催することで、次世代を担う人材を育成する。さらに、地域企業等との連携を強化し、医療機器開発を推進する。
名古屋大学	ノーベル賞受賞者輩出など世界屈指の研究大学として人類の知の継続的創出と、国際標準の教育推進による「勇気ある知識人」の育成	入学者選抜改革を含めた教育制度改革や理工系分野を中心とした世界トップレベルの先端研究を推進し、さらに全学的資源再配分による学部・研究科及び研究所の再編など大規模な組織改革を断行するもの。
	アジアのハブ大学として、アジアと学び世界に挑む人材の育成により持続可能な世界の構築に貢献	アジアサテライトキャンパス学院において国家中枢人材養成プログラムを着実に推進してアジアと学び世界に挑む人材の育成に取り組むとともに、特にアジア諸国を中心として名古屋大学の強みを活かした教育研究活動の展開を拡充し、アジアのハブ大学としての国際的な存在感を高め、ASEAN共同体等新たな枠組みにおける日本の国際連携体制の構築に資する。
	世界有数の産業集積地にある基幹大学として、「ものづくり」に貢献するイノベーションと社会的価値の創出を実現するための産学官連携を含む多様な連携の積極的活用	自動車や航空機などの輸送機器産業、電子産業、素材産業などの世界有数の産業集積地に所在する地理的なアドバンテージを活かしながら、産学官連携を含む多様な連携を積極的に行い、イノベーション創出の場の構築と実践を行うと共に、社会的価値の創出に貢献する人材の育成、安全・安心な持続的社会的形成に貢献する。
	ビジョン実現のために自律的マネジメント改革・大学間連携・男女共同参画の推進により組織基盤を強化	東海地区の各大学の優れた取組を活かす大学間連携や、性別、国籍によらず多様な人材を確保することで世界水準の教育研究活動を支えていくもの。
愛知教育大学	実践力を身につけ、現代的課題に対応した高度な教員の養成	学校現場での実践力を身につけさせるために、アクティブラーニングを取り入れた授業を展開する能力を習得させる科目の開設、大学院での特別支援教育科目の共通科目化等を実施する。
	「学び続ける教員像」を実現するための現職教員の再教育	現職教員を対象とした公開講座として、免許法認定公開講座の拡充を継続しつつ、学校現場からのニーズの高い現代的教育課題に関する公開講座を大学だけでなく、連携講座の一環として各自治体の会場で、地元の教育委員会等との協働で開催する。
	グローバル化に対応した教員養成及び海外支援	海外留学プログラム、海外短期交流、海外教育実習、多文化体験等を整備し、教員及び学生の相互交流を促進するとともに、カンボジア等のアジア各国における学校教育指導者の養成、健康教育、特別支援教育等に携わる人材養成を支援する。
名古屋工業大学	名工大版理工系人材育成戦略の推進～地域の要望を反映したグローバル教育とイノベティブ人材の育成～	産学官教育連携会議において取りまとめた中京地域産業界が求める新たな人材像に基づいた人材育成をすすめるために、学部・大学院の改組を行うとともに、創造工学教育推進センターによる教育改革の推進、海外研究インターンシップの構築、産学官連携によるイノベティブインターンシップの構築を推進する。
	研究機能強化による先端的・独創的な研究拠点の構築～地域産業界のニーズにこたえる研究のグローバル化とイノベーションの創出～	中京地域産業界が求めるイノベーション創出に繋がる実践的研究を一層推進するため、化学関連分野（有機化学、応用科学）及び情報科学関連分野（音響学、計算機科学）などの世界トップレベルの先端的の研究を組織的・横断的並びに国際的に推進する。
	学長リーダーシップによる学内ガバナンスの強化～地域産業界が望むイノベーションリーダーの育成と組織・環境整備～	「中京地域産業界との融合」を基本方針として、地域の期待に応える工学人材（中核技術者、研究・開発人材、工学マネジメント人材）を育成・輩出による地域産業界の国際競争力強化や持続的な発展への貢献及び化学・材料及び情報科学分野の世界トップレベルの研究実績を活かしたイノベーション創出をビジョンとしている。これらの地域産業界が望むイノベーションリーダーの育成を根拠から支えるための組織・教育研究環境の整備について、学長の強力なリーダーシップにより実行する。
豊橋技術科学大学	オープンアプリケーション方式による社会実装型研究拠点の形成	学外の研究機関、地域先端企業を始めとした国内外の産業界や海外の研究機関から優れた人材を結集（「オープンアプリケーション方式」という。）させた「技術科学社会実装研究拠点（仮称）」を設置し、新たな価値を創造し、社会実装へ発展・展開する研究体制の構築、社会実装を志向できる人材育成を行う。
	社会実装を志向したイノベーション人材の育成	国際連携専攻によるグローバルリーダーの育成や社会連携・高度技術者育成センター（仮称）による社会人の学び直し事業や教育プロジェクトを実施し、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的技術プログラムを提供する。
	技科大と高専が連携・協働したグローバル・イノベーション人材の育成	長岡技術科学大学との連携により、高専教員の教育研究力の強化と高専学生の技術習得力を向上させるなど、高専による地域イノベーションの創出とグローバル化を支援する。

大学名	戦略名	戦略の概要
三重大学	地域人材育成と若者を地域に止め置く機能の強化	産学官協働により地域人材として求められる能力を明確化し、それに基づく三重県の文化や産業を結んで地域創生を担う人材を育成するプログラムなど、強みや特色を生かしたカリキュラムに改善し全学に展開する。 そして、三重地域を中心とした東海地域に根ざす人材を育成・輩出し、若者を地域に止め置く機能の強化を果たす。
	研究成果を地域に還元する機能と地域の様々な主体となるハブ機能の強化	三重県の中央に位置する三重大学と北部・西部・南東部・南部の4つの地域にサテライト（地域拠点サテライト）を創設することで各地域でのハブ機能を強化する。 また、当サテライトを通じて、産学官連携機能の抜本的強化を図り、三重大学と地域の企業・自治体が連携により新たな産業創出、地域の諸課題についての教育・研究活動を一体的に推進し、その研究成果を地域に還元し、大学主導の地域創生に取り組む。
	地域の力の発信機能の強化	魚類・鯨類繁殖分野、次世代レーザー内視鏡研究等の三重大学が強み・特色として全国・世界的に展開できる分野を地域の力として広く情報発信を行い、また、研究拠点化へ展開を図ることで地域の力の発信機能を強化する。
滋賀大学	データサイエンス領域における教育研究拠点形成	ビッグデータ時代に必要なデータサイエンティスト養成という社会的要請に応えるために、滋賀大学がこれまで蓄積してきた統計教育や情報教育に関するシーズを活かした新たな教育研究体制を整備する。
	グローバル人材育成機能の強化	・大学教育を国際化し、それを地域の課題解決に活かすことができる地域指向型グローバル人材を育成するなどの取組を推進する。 ・学習指導要領の改訂に伴う小・中・高等学校の英語教育改革や国の入試制度改革に伴う新たな英語の成績評価に対応し、学生・地域の英語担当教員の実践的指導力強化及び児童・生徒の英語力を向上させる。
滋賀医科大学	医系単科大学の持つ機動力と学内連携の下に、講座やセンターの枠を取り払った神経難病研究推進機構を設置し、本学の人材・資金を集中させ、認知症をはじめとする神経難病に関する疫学・基礎医学・臨床医学・メディカルイノベーションにまたがる学際的なトランスレーショナル・リサーチ及び人材育成に取り組む。	滋賀医科大学が得意とする認知症など神経難病の克服に向け、分子神経科学研究センターの改組と内科学講座（神経内科部門）の新設を軸とした神経難病研究推進機構の設置・整備を行うとともに、海外の大学から一線の研究者を招聘し、国際的で最先端の研究の推進と研究リーダーを養成する。
	世界トップレベルにあるMR画像誘導下手術システムを、国際的な研究ネットワークを形成して開発・臨床評価し、その要素技術を順次産学連携にて事業化する。	世界初となるリアルタイムMR画像誘導下手術システム開発を遂行し、完成した独自技術について、随時産学連携を推進し社会還元を行う。
京都大学	独創的な先端研究・融合研究の推進による学術・社会のイノベーション創出	異分野融合による新たな学術分野の創成を促進するとともに、高等研究院の設置やiPS細胞研究等の裾野拡大などを通じて、国際的研究拠点としての研究体制を強化する。
	学生に主体性の発揮と質の高い学修を促す国際通用性の高い教育システムの構築	アドミッション・ポリシーに則った入学者選抜改革を進め、特色入試を確立するとともに、グローバル化社会の中で活躍する人材育成を果たすために、国際高等教育院を中心とした教養教育改革に取り組むなど、主体性の発揮と質の高い学修を促す国際通用性の高い教育システムを構築する。
	世界標準の教育研究環境の構築と多様なグローバル人材育成	「京大グローバルアカデミー構想」に関する取組を行い、国際通用性を高め世界的に魅力あるトップレベルの教育研究を行うなど、グローバルスタンダードな教育研究環境を整備し、語学力・協調性・主体性を持ちグローバル社会で活躍する人材の育成を推進する。
	グローバル化に対応した産官学連携及び最先端で質の高い医療の開発・提供による社会貢献事業の推進	新医療の創生や先端医療を推進し、診療にも導入することで社会に貢献するとともに、産官学連携による世界トップレベルのイノベーションの創出や、地（知）の拠点大学における地方創生推進事業等の実施による地域社会と連携した社会課題の解決や新たな知の創出を推進する。
京都教育大学	現代的教育課題に対応できる質の高い能力を持った教員の養成	グローバル化や理工系分野へのニーズなどの現代的課題に対応し得る人材を育成することができる教員養成が可能となるよう、大学、教職大学院のカリキュラム開発等を行う。
	グローバル化に対応できる人材育成のために必要な能力を持った教員の養成	グローバル人材を育てる教員の養成・研修高度化を推進するために、新たなカリキュラム等の開発を進める。
	教員養成のリージョナルセンターとしての現職教員の質の向上の推進	地域の教員養成機能の中心的な役割を担うために、現職教員に対して地域の教員養成・研修高度化を実現するための養成プログラムの提供、モデルの提示等を行う。
京都工芸繊維大学	「デザイン」を基軸としたグローバル機能強化	世界一線級ユニット誘致等のグローバル機能強化により、世界的なネットワークの更なる拡大を図るとともに、デザイン・建築分野等における優れた研究成果を打ち出すことにより、重点分野を分野別世界ランキングにランクインさせる。
	「地域」から「世界」を見据えた人材育成機能強化	地域自治体や産業界との協働による地域課題解決のためのPBL実践や、海外でのインターンシップ等の取組を通じて、地域から世界へと雄飛できる人材の育成・輩出及び地域定着を図る。

大学名	戦略名	戦略の概要
大阪大学	「知の統合学修」プラットフォームの構築によるグローバル社会で活躍する高度人材の育成	深い専門性に加え、高度な汎用力（課題発見能力、課題解決能力、社会実践能力）をもった人材を育成するために、専門分野を超えた能動的な学修に向けた教育プログラム等を行うための「知の統合学修」プラットフォームを構築する
	学内の多様性を強みとした異分野融合による新たな学術領域の創造と学術研究の推進	海外の優秀な研究者とのネットワークを一層強化し、免疫学や化学をはじめとする世界有数の研究力を誇る分野における最先端の研究に共同して取り組むとともに、次代を牽引する新たな学術領域を創造することで、社会革新をもたらすイノベーションの創出に貢献する。
	「多様な知の協奏と共創」を具現化する世界展開力の強化	教育研究環境のグローバル化、世界展開力の向上を果たすために、海外拠点の整備、大学間交流協定の締結、国際共同学位プログラムの促進、国際会議・コンソーシアムの積極的開催を通じて教育・研究・社会貢献の各分野における徹底したグローバル化を推進し、多様な人材が学問を介して互いに切磋琢磨できる環境の創造を推進する。
	社会ニーズを先取りするオープンイノベーション創出に向けた、市民や産学官の戦略的かつ包括的な連携の強化	先端的分野における産学協同によるイノベーション創出高度人材育成を推進するなど、最先端の研究成果の還元や市民に対する学術・知見の積極的発信を行うことによって、社会と協働して課題を解決し心豊かな人類社会の発展に寄与する。
	構成員の合意形成と透明性の確保を旨とした経営戦略に基づくガバナンスの確立	学内の人材、研究力、教育力を正確に把握し、実証的なデータに基づいて大学の中長期ビジョンを策定するとともに、学内資源を戦略的に配分する。
大阪教育大学	今日的教育課題に対応できる実践型教員の養成及び育成のための機能強化	大阪府を含め全国的な広がりを見据え、主体的な学びの推進などの社会ニーズに対応した教育の実施や、学校現場で指導的役割を果たす教員を養成するため、教員養成に係る学部改革と実践型教員養成に係る大学院改革を実施するとともに、教員養成機能のさらなる充実・強化を図るため、全学的な教学マネジメント体制を確立する。
	現代社会のグローバル化に対応できるグローバル人材としての教員および教育・学習支援人材の養成機能の強化	全学生を対象に外部試験を用いた明確な目標設定とe-Learningプログラムや多読プログラムの活用による4年間積上型の自主学習等を通じて、グローバルな視野を持ち、学校現場の児童・生徒の多様化や多民族化、社会のグローバル化に対応できる人材を養成する。
	現代の教育状況に対応するための教育・学習支援人材の養成拠点の形成およびプログラム開発	教育・学習支援分野に係る学部改革を行い、「安全」をキーワードとした協働型教育・学習支援人材養成プログラムを、理科（実験の安全確保）、ICT（情報セキュリティ）、スポーツ（体育の安全性確保）を重点分野において強化する。
	本学の強みを生かし、大阪府を含めた全国的な教育ニーズに対応した教育研究の推進および発信	本学の強み・特色を生かした教育研究を推進・発信することとし、その一環として、学校安全の推進に関わる蓄積してきた成果を基盤とし、「生活安全（防犯を含む）」・「災害安全」・「交通安全」の3分野と、学校における「安全教育」、「安全管理」及び地域との「安全連携」の3領域を包括する「セーフティプロモーションスクール制度」を展開していくとともに、チーム学校におけるコーディネーターとしてわが国の学校園における学校安全を統括・推進する中核となる人材を育成する。
兵庫教育大学	現職教員再教育型大学院（スーパー・スクールリーダー養成）の拠点形成	教育委員会や各種教育機関、地方自治体、全国の大学等と連携・協働し、大学院の機能を強化・充実させ、学校教育現場におけるリーダーの中のリーダー（スーパー・スクールリーダー）を養成する。
	教職大学院を核とした教員養成高度化の推進	現職教員再教育型の教員養成大学としての機能を果たすとともに、教師教育のトップランナーとして我が国の教員養成を先導する役割を果たす「卓越教職大学院」を目指す。
	教育・研究支援体制の改革及び機能強化	ガバナンス改革に資することを目的に設置した「IR・総合戦略企画室」の体制を強化するとともに、女性と若手教員を含めた教職員人材育成を戦略的に進め、さらに、教員組織の見直しを前提とした年俸制の導入、クロスアポイントメント制度の導入等、人事・給与システムを改革し、大学運営の活性化と機能強化を図る。
神戸大学	先端研究の推進	部局融合型の組織としての「海洋底探査センター」、分野融合型の組織としての「シグナル伝達医学研究展開センター（仮称）」を設置するとともに、次世代医薬・医療機器に関する神戸医療産業都市における企業等との連携やイノベーションの芽の創出に繋がる産学連携活動を実施する。
	社会課題を解決する文理融合研究の推進	社会システムイノベーションの創出に資する成果や新しい文理融合型プロジェクト成果の創出を目指し、文理融合のプロジェクトとして「社会システムイノベーション」「未来都市」を立ち上げ、戦略を柔軟に実行できる研究実施体制を見直す。
	先導的研究成果の社会実装への取り組み	「科学技術イノベーション研究科」を中心に、バイオプロダクションや先端膜等の先端研究分野において、イノベーションの芽を創出する研究段階から科学技術を実用化・社会実装する段階までを見通した産学連携活動を実施する。
	世界で活躍できる人材の育成	海外大学の日本研究科等とのネットワークに基づくユニット交流システムを活用し、ダブル・ディグリー・プログラムを増加させ、外国語による授業科目を増加させるとともに、海外実習やインターンシップ、クォーター制の導入等により、国際通用力を強化した教育プログラムを展開することで、学生交流を促進させる。また、新学部の設置を推進力として、アクティブ・ラーニングを活用した教育プログラムを全学的に実施する。
奈良教育大学	教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働により、教員養成・研修機能を強化する。	奈良県における学校教育の指導的役割を担う教員の養成の中心的役割を果たすために、教育委員会や義務教育諸学校等との協働の取組を拡充し、実践的指導力、自ら課題を発見し協働的に探究できる能力及びグローバルな視野を備え新たな学びに対応できる能力を身につけさせ、その向上を目指して常に学び続ける教員を養成する。
	現代の教育的課題に対応するプロジェクトを組織し、その研究成果を発信・展開する。	主にESD、理数教育、特別支援教育の3点について、教育委員会等との連携のもと、教育の基盤となる知の創出と教育的課題への対応を主軸とした研究ならびに奈良の地に根差した個性ある学際的教育研究を一層深化・発展させる。

大学名	戦略名	戦略の概要
奈良女子大学	全国ないし世界に通用する女性リーダーを育成する教育への展開	理工系女性リーダーの育成を目指し、「理系女性教育開発共同機構」大学院改組など教育実施体制を整備し、理数分野におけるアクティブラーニング型の教育を行う。
	女子大学としての特色を発揮するための強み・特色のある研究の充実と推進	他の女子大学と連携したダイバーシティ教育研究環境整備を推進し、そのノウハウを広く他機関に普及させるとともに、生活科学分野における研究を全国・世界規模に推進・発展する。
	地域から世界へ、世界から地域へ、教育研究のグローバル化の推進と地方創生	大和地域にスポットをあてた教育研究に取り組むとともに、研究における国際的な交流・連携活動を推進する。
和歌山大学	観光学分野で世界的な教育研究拠点を形成する。	「国際観光学センター（仮称）」を設置し、海外のトップクラスの大学の研究者をリーダーとする研究ユニットを招致するなど、国内外の研究者を広く結集し、観光学における世界的な教育研究拠点として研究成果の創造とその発信を行い、観光学教育の体系を確立し、国連世界観光機関（UNWTO）における観光教育・訓練・研究機関認定「TedQual」取得を目指す。
	地域社会と融合した学びを通して柔軟な社会性と対人関係を有し、地域社会に貢献できる人材を育成するとともに、地域社会の活性化を図る。	教育学部内センターである「教育実践総合センター」を全学センターの「教育・地域支援センター（仮称）」に再編し、教職に関する包括的な支援によって、和歌山県の教員の資質向上を図り、子どもの学力向上を目指すとともに、大学教員、学生が各学校を訪問し、地域と融合した取組を行うなど、中山間地域の地域活性化を目指す。
	和歌山圏域における重要課題である大規模災害への対応や地域経済社会の活性化を促進していくための教育研究機能の強化を図る。	システム工学部の強み・特色である、情報通信やビッグデータ解析などの工学技術を活用した防災・減災について、学内他組織での実績を取り入れ、災害情報を集め・伝える技術の開発から利活用までを総合展開する教育研究機能を強化し、災害時に活躍する理工系人材を育成するとともに、新たな地域資源の創造拠点として「地域活性化総合センター（仮称）」及び「食農総合研究所（仮称）」を設置し、農林産物、食品の付加価値を高めるための事業に取り組む。
鳥取大学	乾燥地科学分野における国際的研究教育拠点の強化	鳥取大学の特色・強みである乾燥地科学分野の研究・教育を中心として、新たな研究・教育プロジェクトに取り組み、大学の機能強化を行うとともに、国内外の乾燥地科学分野の発展に貢献。
	医工農連携による異分野研究プロジェクトの推進	鳥取大学の強み・特色であるバイオテクノロジー分野の「菌類きのご研究」や、医工連携による医療機器開発の研究実績を踏まえ、新たに「医工農連携研究部門（仮称）」を設置し、異分野を融合した研究開発及びイノベーション人材の養成を強力に推進。
	価値創造による地域創生拠点大学としての実践型教育研究の新展開	過疎化、高齢化といった山陰地域の課題に対応するため、地域社会と緊密に連携して地域の新たな価値創造を行い、持続発展に資する地域人材を養成するための教育研究体制を構築。特に、平成29年度には大学院を大幅に改組し、新たに「持続社会創生科学研究科（仮称）」の設置を計画。
島根大学	「過疎化・高齢化等の地域課題解決を担う人材育成の教育戦略の推進」	過疎化、高齢化等といった山陰地域の課題に対応し、島根大学がこれまで地域社会に貢献してきた「福祉」分野や、「こころとそだちの相談室」を中心に行ってきた「心理」分野の実績を踏まえ、地域実践力を有する新たな人材を養成。特に、平成29年度に上記の人材育成を目的とした新学部の設置を構想。
	「地域産業、地域社会の課題解決の研究や世界をリードする研究拠点の形成」	斐伊川水系のフィールドを生かし、閉鎖性水域学際研究を先導的に行い、全国的な共同研究拠点の創設を構想。研究成果は島根地域だけでなく、広く世界へ還元。
	「地域課題を担う医療の中核拠点の形成」	高齢化の進む島根地域の中核病院として、健康長寿社会の実現に貢献するため、特に難治性がんに係る治療法開発を地域医療機関等と連携して強力に推進。
	「グローバル人材育成による地域貢献等の推進」	急速な国際社会のボーダーレス化に対応するため、「グローバル人材教育センター」の設置や、海外協定校との連携といった取組を通じ、地域に貢献できるグローバル人材を育成。
	「大学運営体制の強化」	大学運営体制の強化のため、特に全学IR室の設置による全学IRシステムの導入や、URAの配置による全学的研究連携・支援体制の強化を実施。
岡山大学	教育の質保証と国際化 -教育・社会実装-	抜本的・体系的な教学システムの改革を実践し、世界を見据えた教育の全学展開を推進。特に、全学的な科目の見直しを踏まえ、授業時間を60分とする単位の実質化や、全開講科目の体系化・可視化といった国立大学としても先鋭的な取組を実施。
	異分野連携教育の展開 -教育-	様々な状況に柔軟に対応できる国際力、俯瞰的な視野を有した人材を養成するための異分野連携教育を実践。特に、日本人と外国人が共に学ぶ「グローバル・ディスカバリー・プログラム」によるグローバル化を牽引する異分野教育の全学推進や、国際バカロレア入試の全学導入といった、グローバル化への取組を通じた異分野連携を実施。
	異分野融合科学の拠点形成 -研究・社会実装-	「グローバル最先端異分野融合研究機構」の拡充、及び「異分野基礎科学研究所」や「惑星物質研究所」の設置により、世界レベルの特色ある研究を強化するとともに、物理学・基礎生命科学分野の基礎研究力を強化し、世界トップレベル100位入りをを目指す。
	医療分野の拠点形成 -教育・研究・社会実装-	大学の強みを活かし、国際水準の臨床研究と橋渡し研究を担う医療拠点として、新たな医療の創成や、健康寿命の延伸等の次世代医療を展開。特に、新研究科の設置等により、異分野連携による生命医学の教育研究を推進するとともに、革新的医療技術を創出。
	戦略を支える基盤構築 -ガバナンス-	経営・ガバナンスの強化のため、時代に適合した学内資源の再配置や、人事給与制度の改革による教員配置の最適化を推進。また、国立6大学による連携コンソーシアムの活用による大学間連携の協働を実質化。

大学名	戦略名	戦略の概要
広島大学	国際教育研究機能強化のためのネットワーク構築と拠点形成	研究大学強化促進事業等を活用して、研究拠点の構築、環境の整備等を重点的に実施し、自由で独創性の高い研究を推進。教員組織の分離及び独自の目標達成型重要業績指標（A-KPI）の活用による戦略的な教員配置を推進し、新たな学際・融合領域の組織化等や質の高い先端研究を活性化。
	平和を希求する精神を基盤としてグローバルに活躍する高度専門人材の育成	スーパーグローバル大学創成支援事業等を活用し、グローバルに活躍できる国際通用性を有した高度な専門人材を養成する。全学的なアクティブ・ラーニングの取組や、出願から修了までのe-ポートフォリオの全学導入を実施。
	国際交流の推進と地域社会への貢献	海外拠点を活用した世界トップレベルの協定校との研究交流の強化により、広島大学の国際プレゼンスを向上。広島大学を中心とした地域医療連携ネットワークにより、世界最高水準の放射線治療を提供できる医療人材を養成し、アジア・世界への輩出を目指す。
	学長のリーダーシップ強化のためのガバナンスとマネジメント体制の強化	「未来戦略会議」を発展させた「未来戦略室」を設置し、学長のリーダーシップの下で経営基盤を強化し、戦略的なマネジメントが可能となるガバナンスとマネジメントの一体的改革を実施。
山口大学	地域の課題解決・発展に資する人材を育成し、地方創生戦略推進	平成27年度に設置した「国際総合科学部」を基軸とし、実践的な課題解決学習や強みの分野である「知財教育」を学部全体で展開するとともに、「山口大学能力基盤型カリキュラムシステム」を全学展開し、学修プロセスの可視化を通じた、学生・教員の教育・学修の質的転換を図ることとしており、教育効果向上の全学的な波及効果が期待できる。平成28年度に設置する「創成科学研究科」において、研究者倫理及び知的財産に関する知識を備えたイノベーション人材を育成し、大学院の教育機能を強化する。
	アジア・太平洋圏において独自の特徴を持つ大学へと進化するグローバル化戦略推進	技術経営研究科を中心に、知財教育の実績も生かし、アジア等の提携大学と国際的な共同事業を通じた「クロスボーダー型PBL」を実施し、アジアワイドな実践的イノベーション教育拠点を構築。
	国内外大学等とのネットワーク構築による研究推進	アジア・太平洋圏で独自性のある大学を実現するため、知財教育振興のための研究拠点を構築し、人文社会学系分野での活用や企業における海外での知財戦略の展開に資する取組を実施。他大学へのFD・SD、教材開発等を通じ、知財教育のノウハウは全国へ展開。
徳島大学	地域貢献とともに我が国（あるいは世界）をリードする高度専門職業人育成のため、徳島大学の強み・特色である「生命系」、「理工系」の分野横断教育プログラム等を推進する。	徳島大学の強み・特色である生命系分野及び理工系分野の分野横断型教育プログラムを実施。平成28年度には特に医学部・薬学部を中心とした取組を実施し、平成29年度以降は、新たに設置した学部等を中心に更に取組を推進する。
	徳島大学の強み・特色である「生命系」、「理工系」分野において、地域貢献とともに我が国（あるいは世界）をリードする新興分野の拠点を形成し、「酵素」、「LED」領域など異分野融合型の最先端の特色ある研究を推進する。	徳島大学の強み・特色である生命系分野及び理工系分野において、「先端酵素学研究所」や「先端LED研究センター」といった研究拠点を創設し、学内の医歯薬学研究部・理工学研究部・生物資源産業学研究部と連携した異分野融合型の研究を推進。「先端酵素学研究所」において、酵素研究に加えて「花粉症」、「糖尿病」への細胞・薬物治療法及び再生医療の開発を推進。「先端LED研究センター」では、分野横断研究組織を高度化して、世界的に未開拓であるテラヘルツ分野を中心としたデバイスの開発とその医療及び農業応用を目指す。
鳴門教育大学	大学院課程の機能強化による得意分野を持つ教員（スーパーティーチャー）の養成	社会変化の中における学校教育の課題解決のため、学校・地域人材等からなる「チーム学校」の高度なマネジメント力を有するスクールリーダーや、小中一貫教育に対応できるニューリーダーを輩出。そのための各種教育プログラム開発を推進。
	教育委員会や他大学との連携による先進的な現職教員研修のシステム及びコンテンツの構築	教員負担が増加する近年の学校現場において、学びたくても学べない環境にある教員に対応するため、教育委員会とも連携し、サテライトシステムを活用した研修コンテンツの構築・提供を実施。特に、鳴門教育大学の強みである「いじめ対策」の教育研究実績を踏まえ、いじめ防止教員研修モデルを提供し、全国モデルへ発展させる。
	グローバル教員養成のための学生参加型研修の創設及び教育研究機能の強化	これまでの海外大学等との国際的交流やJICAを通じた国際教育貢献の実績を生かし、グローバル教員養成、地域の国際化に資する教育活動を一体的に推進し、グローバル人材を養成。
香川大学	香川大学は地域活性化のための中核機関となることを目指して、地域社会に求められる人材を育成するための教育の充実及び組織整備を行う。	学長戦略室や、教学IRシステムの整備により、学内資源を再配分した組織整備を実施。
	香川大学の強みである希少糖を始めとする研究資産の活用と応用技術の国際的な教育研究拠点を形成し、国際社会に貢献するとともに地域振興に資する	香川大学の強み・特色である「希少糖」分野において、国際的な教育研究拠点の構築し、地域振興にも取り組む。希少糖に関連する医農工分野の異分野融合を推進して産業、医療、デバイスに資する製品・技術開発等を通じ、地域活性化にも寄与。
	香川大学の特色ある資源・技術を活用し、地域連携・地域貢献を促進する	香川大学の強み・特色である四国地域をフィールドとした「防災・危機管理」分野の教育研究成果を更に発展させ、「四国防災・減災連携支援機構（仮称）」を設置し、地域連携を強固にした地域課題を解決する取組を重点的に行う。

大学名	戦略名	戦略の概要
愛媛大学	地域の持続的発展を支える人材育成の推進	新たに設置する「社会共創学部」を中心に、様々なアプローチにより地域の持続的な発展を支える人材を養成。特に、新学部においては、文理の両面の知識を活用し、地域ステークホルダーと協働して複合的な地域課題を解決できる人材を養成し、地方創生にも寄与する。さらに地域ステークホルダーが参画する「社会共創カウンスル」を設置し、学部運営に地域の声を反映。
	地域産業イノベーションを創出する機能の強化	「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」を通じ、地場産業の活性化や、地域イノベーションを創出する人材養成に寄与。新たに設置する「社会共創学部」の取組と両輪で一体的に取り組むことで、地域活性化に相乗効果をもたらす。
	世界をリードする最先端研究拠点の形成・強化	特色ある「超高压科学」、「沿岸環境科学」、「プロテオ科学」等の分野における全学センターを組織的に支援するとともに、「リサーチユニット制度」による先見性や独創性の高い研究グループを育成。特に、「超高压科学」分野においては「地球深部ダイナミクス研究センター」が、「沿岸環境科学」分野においては「沿岸環境科学研究センター」が、全国的な研究拠点としての取組を推進。
高知大学	「地域活性化の中核的拠点」形成に向けた機能強化	高知大学の強み・特色である「海洋鉱物資源科学」分野の実績を生かし、学士課程において教育を行う「農林海洋科学部」を新たに設置。多様な知識・技術を有する高度職業人を育成する専攻の設置を構想。
	地域協働を核とした教育を推進する上で必要な教育の質保証を担保するための体制整備	平成27年度に設置された「地域協働学部」を中心に、現場主義に立った地域協働を基盤とした教育研究活動を全学的に展開。高知大学独自の「eポートフォリオ」を開発し、全学生に活用させ、地域協働による教育の質を保証。四国5大学連携による「知のプラットフォーム形成事業」を推進し、各大学での教養・専門科目を共有・補完し合い、教育内容の充実を図る。
	地域的特性に根ざした諸課題解決、特色ある研究に対応した研究拠点の整備	課題先進県とされる高知県が抱えるニーズに対応し、高知大学の強み・特色ある分野で地域的特性に根ざした研究を推進。特に、黒潮圏をフィールドとした「海底鉱物・エネルギー資源」分野や、「海洋生物資源」分野、及び南海トラフをフィールドとした「防災・減災研究」の実践を強化。
福岡教育大学	「教職教育院」「教職大学院」「英語習得院」「教育総合研究所」を中心とした新しい教育・研究体制による実践型教員養成への質的転換	選修制の廃止や、入試改革、カリキュラム改革を通じ、他では得られない資質を育み、教員養成機能の強化を図る。特に、「教職教育院」を中心に、教育課程、指導体制の整備とあわせて学校現場での体験・実習の拡充を図り、より実践型の教育の実施。また、「英語習得院」においてコミュニケーション能力向上のための教育プログラムの実施や、海外研修・留学事業の充実を通じて、グローバルな視点を有した教員の養成を図る。
	大学院、附属学校、教育総合研究所を中核として九州地域の各大学、教育委員会と共同した高度な教育研究・教員研修の推進	「大学院」、「附属学校」、「教育総合研究所」を有機的に活用し、九州地域の他大学や教育委員会とも共同（関係学会の創設、研究協議の場を設置）した高度な教育研究や研修を実施。
九州大学	「グローバルコア戦略」	世界トップ100大学等とのネットワーク強化による国際競争力の高い研究教育を展開するとともに、アジア・アフリカ地域を含め、国際的に活躍できる人材を育成。特に、グローバル社会で活躍できる人材養成を目的とした新学部の設置を構想。
	「教育システム改革と実践」	全学的な教育構造の変革を担い教育の質の向上を目指す司令塔組織の設置を構想。教育の質を国際的に保証するため、世界標準の教育システムへと変革を目指す。
	「イノベーション創出と牽引」	エネルギー分野で世界をリードする「次世代エネルギー機構（仮称）」を設置し、炭素・自然・水素エネルギーを核とし人系を含めた先端・融合研究を強力に推進し、教育への展開を図る。また、医療・ライフサイエンス分野などにおいても先導的な学術研究を飛躍的に推進。
九州工業大学	社会との協働による教育の高度化及び新たな質保証システム構築に向けた教育拠点形成	第2期における学内外、国内外における多様な協働活動実績に基づき、社会との協働を通じた理工系プロフェッショナル人材育成、及び産学連携による質保証システム構築に向けた取組をさらに推進し、先導的機能強化によって、教育拠点形成を目指す。
	社会のイノベーションに貢献する工学分野の研究拠点形成と産業界への貢献	研究面で強み・特色を有する、環境関連工学、高信頼性集積回路、ロボティクス分野等において、重点的に研究活動を強化し、産業界への貢献を志向した先端的な研究を推進するとともに、産学連携等を通じたネットワークのハブとして、国際的・全国的な拠点の形成・強化を行う。
佐賀大学	地域から求められる大学を目指した経営基盤の強化	新たに設置する「芸術地域デザイン学部」及び「地域デザイン研究科」を中心に、地域のニーズを捉えた佐賀地域の地方創生に資する芸術で地域を拓く人材を養成。特に、有田焼産業等の地場産業の活性化のため、佐賀県有田窯業大学校を統合。
	大学教育の質的転換による地域社会を先導する学生の育成・輩出	地域社会を先導していく学生を養成するため、入口から出口までの教育改革を実施。具体的には、志願者の意欲・能力・適性等を多面的に評価する入試制度の転換や、学生のアクティブラーニングを推進するための教学制度の弾力化、及びキャリアガイダンス等の充実による出口支援の拡充を実施。
	地域に根ざしたイノベーション創出拠点としての強み・特色を活かした研究の推進	「海洋エネルギー」や有明海をフィールドとした「環境再生」といった特色ある研究分野について、重点領域研究として研究センターの配置、組織的な支援を通じて研究の推進、地域に根ざしたイノベーション創出を実現。

大学名	戦略名	戦略の概要
長崎大学	グローバルヘルス教育研究拠点の整備	長崎大学の強み・特色である「熱帯医学・感染症」分野や、「放射線医療科学」分野の実績を踏まえ、地球規模の健康問題を解決、貢献するための「グローバルヘルス」教育研究拠点を構築。特に、共同研究拠点である「熱帯医学研究所」や、新たに設置された「熱帯医学・グローバルヘルス研究科」を中心に、世界トップレベルのロンドン大学とも連携したハイブリッド型の教育研究ユニットを構築。
	地域創生のための知の貢献	長崎大学が貢献してきた長崎地域特有の海洋関係、核兵器廃絶、地域福祉医療等の新たな地域ニーズに対応し、地域社会の持続的発展に資するため、長崎大学の知を結集し、産官学連携や新たなネットワーク構築を推進。
	長崎大学ブランド人材の育成	グローバル化が進む社会の要請に応えるため、国際水準の教育、キャンパスの国際化、海外留学の拡大の実現に向けた戦略的・包括的な教育改革を推進。特に、平成26年度に設置した「多文化社会学部」において先駆的に行っているグローバル人材の養成を全学的にも波及。
	六大学コンソーシアムによる世界トップレベルの教育研究の創生	国立六大学の連携を通じた教育研究の充実強化、国際化の推進により、大学全体の総合力を向上。特に、新たな大学教育に対応できる学生を選抜するためのテストのスタンダードを確立し、連携大学間で「大学間連携入試（仮称）」を実施するといった、入試改革を推進。
熊本大学	世界レベルの研究拠点の充実と先端的新分野の開拓による世界への挑戦	熊本大学の強みである生命科学系及び自然科学系領域において、国内外の優れた人材が結集する「国際先端研究機構」を設置し、国際共同研究の推進、部局の壁を超えた研究者人事の展開とリーダー人材の育成、融合研究の推進等を行い、熊本大学の特色である発生医学研究、エイズ学研究、生命資源研究、マグネシウム合金を中心とした材料工学研究、パルスパワー・衝撃エネルギーを利用した多様な研究を継続的に展開するとともに、熊本大学が世界をリードしていく新たな研究分野を創出し、その成果を世界に発信する。
	旧制第五高等学校以来の剛毅木訥の風情を受け継ぎ、我が国の地域社会や国際社会の中でグローバルな視野で思考し、果敢に行動できる、知力と人間力（胆力）を有する人物をつくる	国際的素養や感覚を涵養するグローバル教育カレッジを起点として、教育の質保証システムを構築するとともに、高校までに培った学力の三要素を評価する入学者選抜を導入及びそれに伴う学士課程教育の質的転換を一体的に推進することにより、多様な価値観や社会規範を理解できる知性と豊かな教養を有し、柔軟な思考力と確かな専門力に裏付けられた国際感覚と確固たる信念を持って行動できる人材（“Global thinking and local action”できる人材）を輩出する。
	熊本大学の“特色”を活かした「くまもと」の4つの豊かさ（経済的豊かさ、環境的豊かさ、文化的豊かさ、知的豊かさ）への貢献	地域課題に対する熊本大学の最適な知的・人的資源（シーズ）の提供プロセスを決定するシステムを「くまもと地方産業創生センター」を中心に構築し、産業振興・人材育成、山から海を一体的にとらえた環境保全、地域社会の文化の向上・発展、都市部から限界集落まで学修者のニーズに応じた教育機会の提供等を通じて、アジアへ発信力のある多様な豊かさを有する熊本の創生に貢献する。
大分大学	社会が求める高い付加価値をもった人材の養成	能動的な学修を通じて高い専門知識を持ち、自立的・創造的に社会に貢献し、次世代を生き抜く力を持った人材育成を行うとともに、新たに設置する「福祉健康科学部」を中心に、大分大学の強みである「医療」、「福祉」、「心理」の融合を図り、地域社会における多様な支援システムのマネジメント能力等の領域横断型の専門職の養成を行うなど、時代や社会のニーズ等に対応した人材を養成し、社会へ輩出する。
	地（知）の拠点としての機能の高度化	認知症に関する予防創薬の開発や大分・宮崎両県との連携による「東九州メディカルバレー構想」による取組を生かした医工連携など、大分大学の特色ある取組を重点的に推進し、地域における知の拠点としての高度化を図る。
宮崎大学	地域と共に興す「新たに光る宮崎ブランド」の確立と発信	新たに設置する「地域資源創成学部」を中心に、地域ニーズを踏まえ、地域と連携したフィールド教育を重点的に実施することで、地方創生・活性化を担う人材を養成。本学部での教育成果を大学院や学内教育研究施設にも波及させ、全学的な地域志向型一貫教育を実施し、「宮崎ブランド」を有した人材の輩出を目指す。
	異分野融合を軸とした本学の強みを活かす生命科学分野での研究推進及び人材育成の国際拠点の形成	一大畜産県である宮崎地域のフィールドを生かした宮崎大学の強みである、ヒト・動物の健康と疾病に関する生命科学分野において、国際的拠点となることを目指す。特に、「産業動物防疫リサーチセンター」の基盤強化により、国際・農学の融合を図り、国際規模での共同研究を推進し、特出した研究成果の創出を目指す。
鹿児島大学	南九州及び南西諸島域（島嶼・へき地）の活性化への貢献並びに教育体系の再構築	南九州及び南西諸島域（島嶼・へき地）の活性化の中核拠点として、特徴ある地域課題の貢献に資する取組を、全学的・組織的な体制で推進。特に、奄美群島及び周辺の薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究や、桜島をはじめとする火山噴火災害に対する防災対策のプロジェクトに取り組む。
	畜産地・食料基地としての南九州の地域振興に資するための人材育成	鹿児島大学の強み・特色である畜産及び食料関連分野の更なる機能強化を図り、地域貢献に資する取組を全学的に重点的に推進。特に、獣医系4大学連携事業における欧州獣医学教育認証資格の取得に向けて構築した教育研究組織及び施設を拠点に、自治体・関連団体等との連携を強化し、地域活性化に資する人材を戦略的に養成。
	南九州固有の地域的課題解決に寄与する研究の推進	難治性ウイルス疾患等の先進的感染制御や、医用ミニブタ等の先進的動物モデル研究といった、鹿児島大学が優位性のある国際水準の卓越した研究分野を重点的に推進。
鹿屋体育大学	国際競技力向上に向けたスポーツパフォーマンス分野における研究拠点形成	グローバルなスポーツイノベーション研究拠点を目指して平成27年度から運用を開始するスポーツパフォーマンス棟を活用。最先端のスポーツ科学を駆使した科学的な教育研究を推進し、国内トップアスリートの競技力向上に寄与することで、オリンピック・パラリンピックで活躍するアスリートを戦略的に養成することを目指しており、国策にも寄与。
	アジアのスポーツ・武道文化の交流・研究拠点の形成	本学が開発普及してきた生活フィットネスアップのための貯筋運動プログラムを国内ばかりでなく、広く鹿屋体育大学モデルとしてアジアを始めとするグローバル研究プロジェクトとして実施。
	多様なニーズに応える教育研究の質の向上	「スポーツ科学」という学問体系を確立し、大学体育・スポーツを先導して戦略的に大学体育指導者を養成するため、九州の国立大学との連携教育プログラムや、平成28年度に筑波大学と大学院共同専攻を設置。

大学名	戦略名	戦略の概要
琉球大学	国際的な島嶼型高等教育システムの構築に向けた教育改革	琉球大学の強み・特色である「島嶼研究」の実績を踏まえ、国際的な島嶼型高等教育システムの構築を目指し、環太平洋の協定大学と連携し、他大学に先駆けて太平洋島嶼地域を対象とする総合的な教育プログラムを開発。
	地域に根ざした強み・特色ある研究分野の強化及び横断型プロジェクト研究を基軸とした新展開	熱帯・亜熱帯、島嶼、海洋といった強み・特色ある研究の一層の推進を図るため、学長のリーダーシップのもと、「研究推進機構」を中心に、全学的に重点領域を支援する研究推進システムを構築。重点領域部門への特命教員の配置や、URAによる手厚い支援等を実施。
	協働(交流と参画)を核とした産学官連携システムの構築による人材育成	県内4箇所(離島地域を含む)に設置しているサテライトキャンパスを活用した学習コミュニティづくりを強化し、地域の活性化を担う多様な人材育成に貢献。特に、新たに設置する「地域連携推進機構」により地域との連携のプラットフォーム(拠点)を形成し、産学官民協働による人材育成プログラムの実施及び共同研究の推進を目指す。
	地域完結型医療の充実と国際医療拠点構築に向けた先端医学研究の推進	島嶼県における「地域完結型医療」の中核としての役割を果たすため、「おきなわクリニック・センター」等を活用し、高度医療・地域医療のみならず、離島・へき地医療を担う人材を育成するとともに、「先端医学研究センター」を中心とした研究支援プラットフォームの構築により、国際医療拠点の形成を先導。
政策研究大学院大学	アジアの有力大学等との国際コンソーシアムの形成とハブ機能の強化	アジアの政策研究・政策人材育成における中心的役割(ハブ機能)を強化するため、各国の公共政策大学院・人材養成機関等によるコンソーシアムの構築を主導し、アジア型の新しい教育モデル・教材開発を先導するとともに、政策研究と政策形成のためのエビデンス情報拠点の構築を図る。
	学位プログラムの再編・強化	プログラム・カリキュラムの再編により、資源配分の重点化・最適化を図りつつ、世界水準の教育研究を展開し、世界の有力公共政策大学院との競争における競争力の強化、アジア・太平洋地域における優位性の拡大を図る。
	多様な学生が互いに学ぶ機会の拡充	国内(日本語)・国際(英語)プログラム区分のシームレス化を推進し、多様な文化背景をもつ学生が共に学ぶ機会を格段に充実させることにより、世界各国のリーダー候補生相互のパートナーシップ醸成を促進する。新たなプロフェッショナルコミュニケーション能力育成のための教育手法の開発と指導体制の刷新により、国境を越えた課題の解決にリーダーシップを発揮できる人材を育成する。
	政府の重要政策への積極的な貢献	新たな教育委員会制度において首長との協働性のもと「社会と時代への先見性」「教育と政策への専門性」を備えた教育長を養成する教育政策プログラムの推進、各国から将来のリーダーを集めて高度な教育機会を提供することにより、我が国と諸外国との間のハイレベルな人的・知的ネットワークの構築を目指すヤング・リーダーズ・プログラムの発展的展開などの政府の要請を受けた教育研究の取組を積極的に進める。
	政策研究院における行政府・立法府の協働による政策工房活動の充実、知的ポリシー・コミュニティの構築、政策人材養成の推進	政策研究大学院大学に併置される政策研究院は、それ自体が戦略的な存在であり、霞が関の主要省庁の共同運営機関(いわば霞が関の天領、政策工房studio)として創設された意義は極めて大きい。国の内外のポリシー・コミュニティを形成するべく、その目的に沿った活動を戦略的に拡充していくことは自明の理である。他に類例を見ない唯一ユニークな本院の評価にあたっては、一般的な大学に用いられる相対評価尺度、数値目標の設定とその達成度といったものではなく、独自のmissionへの適合性と貢献度を認識した絶対尺度による質的な評価の構築が必要と思念する。(付属資料参照)
総合研究大学院大学	最先端研究環境をベースに、基盤機関と連携し、時代が要請する独自の・国際的研究者を育成する	独創的な研究者を育成し、新たな学問分野を開拓するという本学のビジョン実現を目指し、教育体制の改革と徹底した国際化環境作りを促進するため、従来の専攻・研究科の枠を超えた分野横断型教育プログラムやインターンシップ制度等を構築するとともに基盤機関の国際ネットワーク等を活用した国際連携教育研究環境を創出する。
	世界トップレベル研究者間の異分野連携共同研究により、新しい研究分野を開拓する	異分野連繋的な共同研究プロジェクトを専攻、研究科、機構を跨ぎ推進し、新しい学問領域を創出するための制度的枠組みの構築、及び新しい教育プログラムの創成のための仕組み作りを行う。新分野教育プログラムの構築や異分野連繋に関しては、4機構法人で検討されている異分野融合・新分野創成プログラムに連結し、機構を超える異分野連繋をコーディネートする。さらに、従来からの広報活動を機構・基盤機関と連携し充実させるほか、知財の有効活用およびデータベースの充実を行う。
	分散型キャンパスのもとで機能強化を実現するために組織・ガバナンス体制を改革する	分散型キャンパスの機能的統合を行う基盤整備として、分野横断型新教育分野の創生と推進、新分野開拓・共同研究の企画と推進、IR・広報・知財・国際連携の機構・機関連係の推進を全学一体的に実施する「学融合推進機構」を設立する。さらに、テニユアトラック制と年俸制をカップルさせた新しい人事制度を導入するとともに、クロスアポイントメント制度も導入する。また、遠隔講義システムの強化にも取り組む。
北陸先端科学技術大学院大学	グローバルに活躍しうるイノベーション創出人材の育成	知識科学的方法論を全学展開し、国際コミュニケーション能力を高める教育や学生のキャリア目標に応じた指導等を実施し、研究留学、海外インターンシップ等の実践的な経験を積ませることにより、「人間力・創出力」、「異文化に対する理解力」等のグローバルイノベーション創出力を修得させる。
	世界をリードする最先端研究・融合研究の推進	知識科学、情報科学、マテリアルサイエンスの分野における世界レベルの研究を推進するため、エクセレントコア(国際的研究開発・実証拠点)を拡充する。さらに、国内外の大学・研究機関と連携し、最先端の研究者が日本のみならず世界から集う国際的な研究拠点を目指す。
奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術を先導する研究の推進	研究大学としての国際的な地位を確立するため、IRを活用した全学的視点からの研究マネジメントの下、現在の科学技術の基盤である情報・バイオ・物質とその融合領域において世界レベルの先端的研究を推進し、科学技術の変革を牽引する
	世界と未来の問題解決を担う人材を育成する教育の展開	世界を舞台に未来の課題解決や先端科学技術の新たな展開を担う「挑戦性・総合性・融合性・国際性」を持った人材を育成するため、1研究科体制に移行し、分野融合教育や国際競争力を強化するための教育改革を推進する
	グローバルキャンパスの実現	世界の中で存在感を持ち、世界から選ばれる大学となるため、戦略的に留学生の受け入れ拡大や国際ネットワークの構築を推進し、世界からの研究者が行き交い、多様な出身国や文化的背景を持つ学生、教職員が、共に学び研究するグローバルキャンパスを実現する